

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

釧路町 回数 23 回 参加者 322 名

H15/ 9/29	19:05	富原大通会館	参加者： 8 名	H15/ 9/30	19:05	柏地区会館	参加者：12 名
H15/10/ 1	19:05	北見団地地区会館	参加者： 7 名	H15/10/ 2	19:00	あいぱーる	参加者：24 名
H15/10/ 3	19:05	国誉地区会館	参加者： 6 名	H15/10/ 6	19:00	遠矢コミュニティセンター	参加者：14 名
H15/10/ 7	19:05	釧路町コミュニティセンター	参加者：12 名	H15/10/ 8	19:00	日の出会館	参加者：17 名
H15/10/ 9	19:00	曙地区会館	参加者：20 名	H15/10/10	19:00	とおや交流館 1 0 8	参加者：11 名
H15/10/20	19:00	誉会館	参加者：10 名	H15/10/21	19:00	天寧コミュニティセンター	参加者： 7 名
H15/10/22	19:00	睦道住集会所	参加者：11 名	H15/10/23	19:00	東遠野ふれあいセンター	参加者：31 名
H15/10/24	19:00	桂地区会館	参加者：18 名	H15/10/25	19:00	鳥通地区会館	参加者： 9 名
H15/10/27	19:00	別保コミュニティセンター	参加者：15 名	H15/10/28	19:00	床丹地区会館	参加者：18 名
H15/10/30	15:08	老若舞地区会館	参加者：18 名	H15/10/30	18:08	海鳴り仙鳳趾館	参加者：19 名
H15/10/31	15:05	浦雲泊会館	参加者： 9 名	H15/10/31	18:05	協洋会館	参加者：17 名
H15/11/ 1	13:05	釧路町漁民センター	参加者： 9 名				

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
○新市建設計画に関すること ▼質疑 合併協議に至る過程を見ていると、1 次産業の振興を図ることが大きな目的であったが、他市町村とその辺の議論が進んでいるとは思えない。 ▼質疑 今後、大きな事業として消防庁舎の建設等のほか、町が建設しなければならないものは何か。 ▼質疑 予算付けがされずに、計画を出さなければ損とばかりに主要事業が列挙されている。これは国や道に要望することになるのか。 ■意見 合併を前提にすると、市役所の駐車場が少ない。駐車場のことも考慮して協議して欲しい。	町 他町村には山があり森林があり、漁業や農業も含めてそれらの資源をどう活用するか、地域の活性化に役立つのかを検討することが発端であった。協議を進めていく中で、他市町村との認識の違いを感じている。それは、合併してから決める項目が多すぎるということ。これでは「地域なし」の議論になって地域の皆さんと話ができない。新市建設計画でも具体的なものが示されていない。そういう状況が随所に出ている。当初の発想は指摘の通りで、いつ変質してしまったのか、どうして変わってしまったのかという気がする 町 給食センターの統合、遠矢地区の下水道整備、公営住宅の整備（老人世帯向け）等が課題。 町 各市町村の総合計画を載せている。市町村で必要とする事業だが、どこまで実現できるのかは不明。時期、金額については明確になっていない。財源には特例債を充てる。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 概要版には基本的に事業名は載っていないが、P6「春採湖ネイチャーセンター」などは実事業名で挙がっている。載せるなら全て載せるべき。判断の基礎はどの事業をするかが分らないと出来ない。	町 集約の仕方で行ったもので他意はない。全て網羅すると膨大な分量になる。
▼質疑 鳥取県と同じくらいの行政面積。本州の町村はすぐ隣同士の状態だが、音別と釧路市では距離がありすぎる。起爆剤として市を活性化すると良く聞かすが、特例債を使うビジョンは出来ているのか。	町 概要版の 11P までに主要施策があるが、市町村で何を、いつ行うかは示されていない。 釧路町の事業の位置づけは、本日配布資料に記載してある。事業名が列挙されているが目標としているもので必ず行うと確約されたものではない。特例債は 100%活用することになるが、どの事業を行うかは新市になってからの予算査定で決まることになる。
▼質疑 合併すると予算の配分や町の文化、伝統を引き継ぐため小さな自治権を持たせて、予算を持ち自治権を委ねるような検討はしていないのか。	町 予算をどう使うかは難しい。限られた予算を集中的に使う、地域の重点化より、環境や雇用といった事業の重点化に移っていくのではないかと。
▼質疑 長野県に友人がいる。北海道とは違った状況。小さな町ほど町民の意思で町を変えていくことが出来るという。ここに住んでいる以上、納得のできる負担や痛みは覚悟しないといけない。 大きくなり焦点がボケルと地域の格差が縮まらなくなる恐れもある。大きくなることよりも、顔の見える行政がいい。	町 大きくなることよりも、顔の見える行政がいいというご意見は数多く聞いている。 大きな行政は目が届かなくなりトラブルの元になるとの不安に対しては、地域審議会を置くことも出来、課題に対しての要望や意見具申をすることが出来る。その役割は、協定を結んだ内容を実施できるか監視することだ。約束事があってもどれだけの権能があるかという権能はなく、予算がないからダメと言われたらそれまでの話になってしまう。
▼質疑 若い人の雇用の場は何年も前から言われていること。観光観光と言うがどれだけの効果があるのか。働く場が少なすぎる。	町 雇用問題がアンケートでも一番多くなっており、難しい問題だが、施策の目玉にしている。
▼質疑 概要版の新市の施策で具体的な事業がなくメリットがわからない。判断するためのデータとしてどう考えればよいのか。	町 新市建設計画は、市町村別の事業としては載っていない。釧路町の別添の資料にある総合計画や構想は市町村ごとに提出しそれを反映しているが、具体的な地域整備をいつ実施するかは決まっていない。財源も必要になり、具体的には新市の予算査定の中で決まっていく。サービス等の調整以外でメリット・デメリットはわかりにくいかもしれない。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 合併時のシミュレーションは必要なことだが、管内・根室を含めて地域は冷えて活気がない。道東の中心は帯広になるのではないか。将来、合併してダイナミックな発想をして、芽が出そうかどうか。 ▼質疑 釧路町は自立したほうが未来がある。概要版と比較してもそのほうがメリットがある。 ▼質疑 釧路市は農業がなく、2 次・3 次産業も衰退しており先の見通しがない。メリットもなく、仕事もない中で合併して果たしてよくなるのか。力をあわせてやっていけば見通しがつくのか。 ■意見 6 市町村が合併しても、大きな考え方が見えない。釧路港は苫小牧よりも立地条件が良いにもかかわらず大きなビジョンがないために有効な活用がされているとは言いがたい。小さな意見の積み重ねをどのようにして具体化していくか。マリモや丹頂鶴など地域の魅力をどうやって具体的に大きな魅力にしていくか。若者が集まることができる魅力的なまちにするためにどうするか。等々。新市を総合的にどういう形にしたいのかが見えてこない。住民の意識もバラバラで、行政と一緒にまちづくりをするにも限界がある。合併するにはまだ時間が必要であると考えます。 ■意見 釧路町にはいいものがいっぱいある。他の町村もそうだが、合併	町 地域住民にとって幸せになる、活性化することがなければ合併する必要はない。もうひとつは、活性化は条件が揃わないといけない。基本的には、地域住民が同じ思いで努力することが一番必要だと思う。釧路合併の際には、財政再建で非常に苦労した。行政と住民が一緒になってまちづくりを行い、10 年の計画を 9 年で成し遂げることができ、今日の状況を迎えることができた。これが一番大事なことで、6 市町村が合併したときに、新市の住民と行政が同じ気持ちになれるのかどうか。 ダイナミックな将来ビジョンは、P12～13 に示してあるので、参考にされたい。 町 長い先の話になるが、国の人口は約半分にまで減ると推計されている。5 年 10 年という短期ではなく、人口が半分になるような時に、釧路町が残っていけるような発展があるかどうかわからない。釧路市が衰退すると釧路町が衰退するのも確かなことである。この協議会で描いたまちづくりの一つとして、一次産業の波及効果が上げられているが、具体的にどうするかは明らかになっていない。 町 炭鉱が閉鎖されたがコールマインを立ち上げるなど再建策は講じている。市が発展しているのなら合併することに不安はなく、簡単に判断も可能だろうが、難しい問題である。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
することで6市町村が1地域になってしまい、それぞれの良い面が埋没してしまうのではないかと思います。最後まで釧路町として自立してほしい。 ▼質疑 合併しても良くなる保証はない。独自にやって回避する方法はあるのか。 ▼質疑 概要版最終ページの「心配なことへの対応」が一番心配。合併しても、自立しても苦しいなら、町として残りたい。現状 80%ほどのサービスを受けていると思っているが、それが下がっても良い。苦しい時期はどれくらい続くのか。我慢して独自で行きたい。 ▼質疑 建設計画の事業は、保証されている訳ではないのか。 ▼質疑 町の規模を図るのに人口と面積があるが、人口 20 万人以上だと恩恵はあるのか。 ▼質疑 大きな問題は特例債。10 年後にはどうなるのか。ただでくれるのか。10 年後に借金が残るなら合併しても苦しいのではないのか。 ▼質疑 特別交付税で事業ができるが、町村の持ち出しがなくてもできる	町 新市の建設計画が 100%実行できるという保証はないが、100%になるように努力しなければならない。行政も住民も努力が必要で、待つばかりでなく一緒にまちづくりをするという意気込みが求められる。合併しても大変、自立するのも大変。どちらを選択しても苦労があり、努力が必要と考えている。 町 合併しても、自立しても苦しい時期がある。今の釧路町は釧路合併し、村民皆さんの協力と理解を得て財政再建計画を9年間で解消した。これは苦しいことがあっても、結果にいいことがある証である。いずれにしても理解と協力が必要になり、皆さんに判断していただきたい。 町 主要事業は必ずするというのではなく、必要なものとして列挙している。合併特例債は全額使うと想定しているが、どの事業に使うかは明確ではない。どの事業を優先するかは市町村に委ねられているので市町村で選択することになる。町の総合計画、構想段階のものも含めて金額まで記載されたものを協議会に提出している。釧路町の具体的な計画は、お手元に配布の資料に記載されている。 町 法律的には人口規模に応じて政令市、中核市、特例市がありそれに応じて付与される権限が違う。 町 10 年後に借金は返していかなければならない。交付税措置された以外のものは借金となる。10 年後は返す一方になる。苦労してもやっていける要因の1つは借金が少ないことといえる。 町 特例債も借金で 70%は交付税で見ると国は言うが、実際にはそうはならない。その借金の返済が生

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
のか。借金しないといけないのか。概要版ではその辺のシミュレーションは行っているのか。 ▼質疑 合併特例債は、建設事業をしないとお金が入ってこないもので、借金を返すために使える訳ではない。釧路町が合併特例債を使って行う事業はあるのか。 ▼質疑 借金してまで合併をする必要があるのか。 ▼質疑 合併特例債を借りられるところは全て限度額いっぱいを借りることを想定すると、需要額が増え、国の支出枠は決まっているのだから、減額される心配はないか。減額されないという裏づけはあるのか。 ▼質疑 交付税の仕組みがあるのに地方切捨ての最たるもので、特例債は借金も伴うもので、新市建設のスローガンはいいが、全部実施可能なのか。 ▼質疑 交付税は、国が地方の均衡ある発展をする為の制度で、幻想を抱くような内容ではないのか。 ■意見 6 市町村で借金を抱えており、今よりももっと悪くなるのではないか。他の借金を抱えて 10 年後に苦勞するのか、今は耐えて 10 年後に楽をするのかの二者択一しかないとい個人的に思う。	じる。この点を踏まえて概要版ではシミュレーションしている。 町 新市建設計画で主要施策・事業があるが、どれに使うかは明確になっていない。新市になってから検討されることになる。特例債は限度額を使うと見込んでいるが箇所付けはされていない。 町 借金なので返していくが 70%は交付税で返ると国はいつている。1 千万円借りると 7 0 0 万円返ってくることになるが、現実には 50%が返ってくればいいのかと考えている。概要版の財政計画と町の財政計画を比較した場合、町の財政計画のほうがよりシビアな数値であるといえる。 町 裏づけはない。 町 19 年度以降は黒字に転ずるかどうかは、国の施策を信ずるしかない。国の交付税の考え方は従前の計算方式は維持するというが、額の保証をしているわけではない。 町 特例債に対する幻想は持っていない。釧路町としては、できるだけ借金は少なくしており、長期財政シミュレーションでいけると考えている。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 人件費の削減効果は、各市町村でどれだけ減るのか。	町 概要版 16P 参照。職員給の削減効果（職員の人数）の単位は千円ではなく「人」。H15 年は 2,478 人、H17 年は 2,397 人、H26 年 2,008 人で、H26 年と H15 年を比べると 470 名の減員。H17 年度で 2 億 1,561 万円の削減効果、H26 年度では 470 名分の削減があるため 27 億 4,032 万円の節約になる。
▼質疑 職員数を削減することになるが、各町村に「総合行政センター」を設置し支所以上の権限を持たせるなら、それなりの職員は必要になる。職員削減を伴って行政サービスの低下を招かないか。	町 職員数は 2,478 名から 2,008 名と 470 名の削減になるが、退職者の補充を抑えるという考え方。
▼質疑 職員が削減されてサービスの維持が可能かどうか。	町 削減の数字は、類似団体で推計したもの。町村の「総合行政センター」には不要となるセクション（企画、総務、教育委員会、農業委員会など）もあり対応は可能かと考えている。 合併の大きな狙いは行政のスリム化があり、合併することで議会は 1 つになる。職員はサービスの問題があり単純に 1 つとはならないが、サービス低下を招かない程度の削減は可能であることから目標設定をしている。
▼質疑 釧路市の借入金が 1,000 億円近くあるが、返済はできるのか。	町 概要版 14P の歳出で、公債費とは 6 市町村が今持っている借金と合併後にする借金の合算の額で、この計画では今までの借金もこれからの借金も、返しながら財政運営が可能となる。
▼質疑 現在トータルで借金がいくらあるのかわからない。	町 15P の下段グラフ参照。トータルでは 17 年度 1,506 億円、その後 26 年度をピークに減少する。
▼質疑 調整の時期が明らかでないものが多いが、財政計画に反映されているのか。	町 明らかになったものは財政計画に反映し生かされている。反映されていないサービスに係る経費などは合併後に、財政計画を勘案しながら決めていくことになる。
▼質疑 概要版の P15 上段で「サービス等の調整に伴う経費は勘案している」とあり、今の説明と違わないか。	町 明らかになったものは反映しており、方向性が決まっていないものは市町村で行っている現状のサービスを積み上げた数字を使っている。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 概要版の P14 財政計画の歳入・歳出を詳しく説明願う。6 市町村の赤字は 1,600 億円くらいだと思うが、赤字の団体が合併するのに簡単に返せるのか。3 セクの赤字は 220 億円くらいだと思うが。	町 市の借金残高は 1,000 億円、財政計画は一般会計をベースにしており、釧路市と 5 町村の借金を返しつつ、新たな借金をした場合にはこういう数字になるというもの。1,600 億円は単純にダイジェスト版の数値を足したもの。ここには 3 セクの数値は入っていない。3 セクについては、買った値段では売れないため、含み損があるがそれは計算の中に入っていない。破綻すればそれが上乗せされることになる。
▼質疑 協議会では洗いざらい話し合おうと言うことだが、釧路市の公社の状況は公表できないというが、合併後に判れば今まで借金をしていたところが得をして、我慢してきた町が損をすることになりおかしい。	町 3 セクの件は、地価が下がり含み損があり、明確にすべきと委員も求めたが、釧路市から「含み損があることは認識し、責任も自覚しており、今後も努力する」旨の発言があり、それで終わっている。 皆さんが、借金をしてでも良い施設が欲しいのか、施設は不足しても健全な財政を望むのか、という選択になる。
▼質疑 市の 3 セクの赤字分はどうなるのか。市の借金を町民が負担することになるがどう考える。	町 (各市町村の 1 人当たりの借金の残額を説明し)他の市町村の借金を負担することになるだろうという状況。
▼質疑 第 3 セクターの負債の件は明らかになっていない。判断前に明確になるのか。	町 土地開発公社、振興公社の件だと思うが、2 つの公社で損失補償は 220 億円で、それは市の予算書にも載っている。仮に破綻したら市が負担することになる。買ったときよりも今の値段が安く、含み損があるのではないか。6/22 の小委員会で副市長が「含み損があることは認識している。しかしそれを明確にすることは出来ない。ただ、市の責任として努力しなければならない」という発言があり議事録にも載っている。そのようなやり取りでこの問題については終了している。
▼質疑 公社の赤字の議論は、合併後の負担にならないように話し合いされたのか。そのことは町民に広く知らせて欲しい。	町 この協議はガラス張りの議論が原則なので、今後判断するための材料、鶴居村の基金の使途など新たな動きがあれば、積極的に情報提供していきたい。
▼質疑 合併した後にわかって遅い。住民への説明は厳しくなるのではないか。	町 情報公開が原則だが現段階では不明。合併後に借金が判明し、もし住民に負担を求めるようなことになれば問題。それらを知った上で判断することが求められる。含み損は未来永劫続く訳ではないが、情報公開はハッキリして出した上で判断されるべきで、協議会と小委員会の議事録にも発言し回答要旨は

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 合併した後の姿が十分に示されていない。3～5 年間は今のサービスや負担は変わらないだろうが、その先がわからない。 ▼質疑 新聞や TV で鶴居村の積立金は 60%位独自で活用可能という報道があったが、どうなっているのか。	載っている。 委員 協議会での議論は、事務局提案を追認する形が多い。小委員会では、釧路町委員は町民の目線で、素朴な疑問を発言している。概要版の内容だけでは判らないし、これで判断を求められても難しいと思う。広大な面積を有する新市の議論なのだから、なおさらのことかみ合わない議論になっている。 3 セクの問題については、しつこく意見を出した一人として 220 億円の損失補償の件や公社で 96 億円の借金があるのに利息が 327 万円しかないという矛盾、等について質問しているが、それを土地代に転嫁し 20 億円の土地が 60 億円になっているなど明らかに経営は厳しい。含み損については、金融機関との兼ね合いがあり、難しい問題である。 町 事業を実施するために特例債を借りることになる。有利な借金とは言うものの、これも借金で 7 割は交付税で返し 3 割の負担で良いというが、数字のマジックで、実質的にはその半分程度しか交付税として入らないと計算が出来る。その半分は自分たちで負担することになる。 町 積立金は本来的には新市に全てを引き継ぐべきものだが、幸か不幸か鶴居村は段違いに多い。鶴居村は産業振興のために効果的な使い方をしている。無制限に特別扱いすることではなく、条件付であると理解している。認めざるを得ない経過がある。
○<u>住民サービスや負担に関すること</u> ▼質疑 新市になるとあまりいいことがあるように感じない。負担が重くなり荷物を背負われている感じがする。大きな市になることの必要性はわかるが、齢を取ってくると先のことよりも現実的にその日その日の生活を考えて判断する。	町 メリット、デメリットの話はずっとしてきたが、町民の皆さんにとってのメリット・デメリットが判断の材料になるだろう。合併の結果メリットがないと意味がない。将来的に新市が考えていくものは 10 のプロジェクトがある。（10 プロジェクトの説明）これは将来の生活の 1 つの判断材料になると思う。サービスと負担で言うと水道料金はメリット、下水道使用料はデメリットで合算するとデメリットになる。 総じて負担が増えそうな傾向といえる。何を基準とすべきかは様々で、判断材料も様々。今受けているサービスを元にしてもいいし、色々な判断があって然るべき。12 月には判断をするのでそのために

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 調整方針は町民としてメリットが少ないと感じる。 住民負担は増える。行政区域が広すぎて住民サービスの向上は不可能でないか。除雪にしても対応が全く異なる。疑問に思っているが町はどう考えるのか。町の財政計画を見るとやっていけないことはない ▼質疑 合併することのスケールメリットは判るが、今より釧路町が良くなるとは思えない。遠い町村の方はもっと不便を感じるのではないか。個人的には反対。合併しなかった場合には町民税を引き上げてでも単独でやって欲しい。合併した場合、行政が住民の顔を見ながら仕事をしてくれる姿勢が保てるのか心配がある。 ▼質疑 概要版は丁寧に書かれているが、ハッキリしないことが多々ある。（時期、内容等について） ▼質疑 概要版は色々なことを想定して作られているが、調整方針の時期がまちまちになっている。 ▼質疑 合併しなければならないなら頭から反対ではなく考えたいが、137 項目の調整方針を見ただけでも不安が生じる。残った 1,000 項目の調整はどうなっているのか。	住民説明会も開催している。色々なご意見を聞きたい。 町 137 項目の調整結果を見ると、負担は安くなるよりも高くなる方が目に付く。調整方針で、23 万人都市のうち 19 万人を占める釧路市の財政規模に合わせる必要があり、市の料金体系に合わせる方向が多い。 皆さんの意見をお聞きし、アンケート結果により判断したい。 町 合併特例法は、分権時代にあって一定の基盤を持った自治体でないと行政が難しくなるため規模を大きくする必要があるというもの。住民にすれば行政の面、施設の面での境目はなくなっている。今の意見も住んでいる人にとっては生活が変わる訳ではないという主旨だと受け止めている。何年も前から説明をしてきたが、概要版が出来て新たに説明を行っている。この機会に皆さんのご意見をお聞きしたい。 町 釧路町としては、判断材料を得るために具体的な回答を求めているが、合併の後に決める事項は多い。他の町村の事情もあることで、結果として示された内容のとおりとなっている。 町 合併時は現行通りだが、いつ同一基準（サービス、負担）になるのが明確でないものがある。同じ市民で格差が生じる。今までは行政が違ったので格差があっても不自然ではなかったが、同じ市民で格差があるのはまずいと思う。 市町村民税も保険税も行政に納める額は同じになるのが基本だが、これを一本化するという基本を踏まえつつ、どのようにして同じにするかの方法が見出せなかった。額や期間が明確でないという状況だが、いずれは同じ負担、サービスになる。 町 現在、各市町村で住民説明会を行っているため、小委員会が開けない状態にある。残りの項目でも大事なものはあり、継続して専門部会での検討は行っているが、小委員会で決定しなければ協議会としての方向が定まったとは言えず、公開することは出来ない。1,000 項目もの調整方針をどのように公開す

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 合併により、町民サービスの低下を招く心配はないか。	るかという物理的にも難しい面がある。住民サービスの調整も判断材料の一つだが、どういうまちづくりをするのかも判断材料の一つ。人口の増減も収入を確保する面から判断材料の一つで、それぞれの立場で判断して欲しいと思っている。この調整方針には良い面もいっぱいある。生活保護は釧路市の基準になり、奨学金は上限額を用いるなど、合併することでのメリットもある。 町 各町村の支所は全て残し、各役場は総合行政センターとして残す方針で、縮小はされるが住民サービスの部門は残す。管理部門は統合し集約されることになる。急激なサービス低下をできるだけ招かないための配慮をしている。 職員数はどうなるかという、財政のシミュレーションでは20年後には、結果的に市の職員数で足りることになるが、サービスを維持するために必要な人数なのか、整合性が取れているのか、具体的には見えてこない。20年間センター機能を残せるのか明確ではない。
▼質疑 先行調整項目の中にも、合併後に調整する項目があるが、現段階ではわからないのか。肝心なところで調整猶予、期間が明確でないなど、協議会の考え方がハッキリしない。概要版では合併したらどうなるかが説明し切れていないと感じる。	町 調整がついているものもあるが、明確でないものもある。新市にならなければ分からないことがあるのは仕方がないが、何年かけて結論を出すのかが明確でない。同じ市民になるのにいつまでも格差があってはならない。対等合併するということは、不利益を生じることなく合併時に速やかに数年間のうちに、サービスも負担も一定にすることが必要ではないか。それが漠然としているので、合併後の姿が良く見えないという意見につながってくる。 概要版は合併した場合にはこうなるといいう協議を行っており、各市町村独自のサービスや負担があるため、様々な議論があり調整が難航しているということを理解願う。
▼質疑 今までどおりのほうが安心できる。何年か先には苦しくなるかもしれないが、我々が判断するのは難しい。今までどおりのサービスが提供されるのか不安もある。	町 国の状況からすると、合併しても大変、合併しなくても大変である。何もしなければ地域の発展はない。大きくなれば問題も出てくる。自立できるのかと問われれば、自立できないことはないと思うが、その為には限られた財源をどのように使っていくか。サービスを下げ、支出を減らしてでも運営していくのか。サービスを向上させるなら、新たな財源を見つけて皆さんに負担してもらわなくてはならなくなる。
■意見 今協議していることが、10年後20年後に良い結果が出るとは限	町 釧路合併は成功例の最たるもの。合併して良かったというところは少ない。6市町村が1つになった

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
らないのではない。 ▼質疑 現在広域でやっている事業は、合併から外れた場合に、継続してやっていけるのか。 ▼質疑 合併した場合に広くなり、行政との距離が遠くなるのではないかと心配がある。 ▼質疑【調整方針№2】 水道料金はこの値段でやっていけるのか。値上がりなどはないのか。 ■意見【調整方針№2】 水道料金は毎月払うことのほうが楽。市の制度になると2ヶ月に1回となるがそれは辛い。新市になれば月に1回にして欲しい。 ▼質疑【調整方針№4】 ごみ処理で町は市にいくら支払っているのか。住民には分別させておいて処分場では分別がない、独自に処理場を作ってはどうか。ごみ処理の有料化はされるのか。 ▼質疑【調整方針№4】 今の体制で頑張ることが出来るなら、個人的には合併を望まない。ごみ焼却炉はもっとコンパクトに考えて欲しい。合併しなくても焼却炉の負担金は発生するがどれくらいになるのか。	らどうなるかを約束している。しかし、その中にも結論を先送りしている項目が多々ある。これらはどうなるかわからない。新市になってからの判断に委ねられてしまう。住民が一番困るのは、サービスが低下したり、現状維持することを担保できないことと思っている。 町 広域連合は6市町村同じ枠組みで、釧路町が抜けたとしたら新市と釧路町で広域連合を作ることになる。公立大学など10市町村で構成している一部事務組合は新市とその他の町村で構成することになり、継続して事業を行っていくことになる。 町 車の普及により、昔に比べると距離は縮まっている。反面、ガソリン代や時間がかかることになり、新市全てで格差がなく100%のサービスが受けられことにはならないだろう。 町 釧路町の分水区域で釧路市には3億円ほど払っている。合併でその分の収益がなくなると水道会計としては減収になる。町も市も水道料を据え置いており、今後もこの料金でいけるかどうかは疑問。 町 正確な資料はないが、およそ年間1億円程度と思われる。 市の埋め立て処分場の寿命も短く、6市町村で焼却施設を共同で建設中。 現在、阿寒・白糠が有料化されている。市も有料化を検討中。合併後は有料化をする方向で調整中。釧路町でも過去に検討していたが時期尚早で見送った。いずれにしても有料化になる。出した人の責任で処理することとなり、分別は守って欲しい。 町 入札を終え、当初の半分近くに減った。減った額でそれぞれ負担することになる。合併しなかったら釧路町の排出するごみの量に応じた負担になる。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑【調整方針№4】 先日、高山処理場の施設見学に参加したが、もし合併しなかったら、ごみ焼却施設はどうなるのか。使えなくなるのかどうか心配がある。	町 ゴミの広域連合は6市町村で構成されており、全てが合併すれば必要なくなるが、1つでも抜けると合併後の新市と広域連合を作ることになる。その際には、ゴミの排出量に応じて建設費や処理費用を負担することになる。
▼質疑【調整方針№5】 ごみの有料化は釧路市と同じ金額と受け取っているのか。	町 有料化は釧路市と釧路町が同時にやる必要がある。そうでないと未実施の自治体にゴミが流れることも予想される。料金も同一であることが望ましい。
▼質疑【調整方針№5】 ごみの有料化について、45円くらいではなく、1軒いくらに出来ないのか。	町 多く出す家もあれば、少なく出す家もある。出す分量に応じて負担してもらうことが原則。
▼質疑【調整方針№5】 ゴミの有料化は、合併しない場合でも有料になるのか。	町 現在6市町村共同で経費を負担しながら焼却施設を作っている。ゴミ量を減らすためにも有料化を検討しており、合併しない場合でもH18年には焼却炉が稼働するので、それまでには有料化となる。やるとすれば市町村同時に有料化になるだろうと考える。
▼質疑【調整方針№7】 年金生活者として国保料が高くなる、負担率が多くなると感ずる。概要版のP20を見ると、いずれとも階層が多いところが高くなる。何とかならないか。	町 国保料は医療費が増えると負担が増え、その具体的な料金の設定には、いろいろな求め方がある。合併した場合の試算では、高くなる市町村の抵抗感是否めないが、新市になれば、一定水準に持っていかなければならない。同じ市民でありながら差があるのは問題がある。合併はいい部分もあるが、調整するときには安くも高くもなり得る。
▼質疑【調整方針№18】 町の住民に対するサービス（確定申告などの方法）は行き届いている。合併すると市で行っているような対応になってしまうのか。	町 市町村での仕事の仕方を整理しながら、新市で十分に検討していかなければならない。確定申告方法は、現行どおり新市に引き継ぐので、今のやり方は当分の間は維持される。
■意見【調整方針№18】 確定申告時における職員の優しさ、老人高額医療費の還付時における対応の早さなど、本来であれば自己申告だが、職員の方がやってくれた。とても親切な対応で感謝している。合併が決まったとし	

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
ても、このような良い面は、新市でも取り組んで欲しい。 ▼質疑【調整方針№35】 敬老祝い金で、鶴居村 70 歳以上、音別町 77 歳以上の方は毎年支給されるのか。 ▼質疑【調整方針№49】 子どもの医療費の格差は大きい。15 歳まで無料というのは大きな魅力。 ▼質疑【調整方針№57】 №57 の「小中学生の就学援助費」に通学費とあるが、バス代のことか。 ▼質疑【調整方針№54,64】 H17 年 4 月に入学する児童が、美原小に入学すると思っていたのに富原小に入学することになるということが予想されるが、その場合は給食費に差が生じてしまう。 市と町とは近いため、通学区域と給食費の調整の時期を同じにすれば良いのではないか。 ▼質疑【調整方針№64】 合併すると給食メニューは統一されるのか。 ▼質疑【調整方針№76】 スポーツ施設に関連して、釧路市や周辺町村にスポーツ施設はあっても宿泊施設がない。合併してもしなくても、宿泊施設があれば合宿なども多くなる。隣接して作ってもらえないものか。	町 毎年年金として支給される。サービスの調整に年数がかかるのは仕方ないが、経過措置の年数が明示できないのは、同じ市民として格差が生じることになる。 町 鶴居村、音別町ではその基準でサービスをしている。基準を下げるのではなく上限にあわせることも検討したが、対象人口を考慮すれば財政的な負担も増え、ある面、条件闘争的な側面も伺える。 町 市の場合、特殊学級に通うための実費分を交通費としている。阿寒町でも同様に実費を出している。 町 通学区域は合併時までに決まるが、現実により得る。具体的に現実論として調整することが望まれる。 今結論は出ない。 給食費が学校間で格差があるような決め方はまずいが、過渡期にはあり得る話であり理解をお願いしたい。 給食費は、単価の違い、食材をどこで買うかによって生じた差であり、現段階では概要版の通りの調整になっている。 町 専門部会では統一メニューの話が出たが、地域の特殊性を生かして食材のメニューの工夫などを求める声があり、地域事情を配慮という調整方針になっている。 町 現状からすると単独での施設は難しい。総合計画の中で付帯施設として考えていくことができればと思う。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑【調整方針№81】 概要版の中で農協、森林組合の合併については触れていないが、どうなっているのか。	町 先行調整項目の中には含まれていないため、まだ話し合われていない。農協は全体の組織でまとめ、漁協は規模に応じて協議が進められる。市町村が合併するからといって、合併しなさいというものではなく、組合同士で話し合えば良いこと。
▼質疑【調整方針№84】 漁場管理の面で、釧路町のように雑草駆除があるところと持っていないところがあり、調整猶予3年でどのように調整されるのかわからない。	町 新市になってから決める項目の一つで、このような項目が多くある。
▼質疑【調整方針№84】 漁協間での合併の話はまだない。漁業権はどうなるのか。市町村合併されたら漁協の合併にも弾みがつくのではないか。	町 漁協の合併と市町村合併とは関係ない。漁業権は漁協が管理しているので、仮に漁協が合併しても漁業権は残るのではないと思う。漁業はこれから、獲って売だけの時代から付加価値を付けて収益を上げること考えなければいけない。
▼質疑【調整方針№84】 その為には漁協で加工場を作らないといけない。それを加速させるためにも合併すれば良い。	町 それでは他力本願になってしまう。自分でやるのが大事。合併したくなければ、行政と一体となる意気込みが必要で、自治体にもそういうものが求められている。
▼質疑【調整方針№84】 合併することで漁業も淘汰されてくるだろう。もし一本化されたら豊富な資源がある漁協とそうでない漁協の調整がどうなるか、漁業権も絡んでくるので合併は反対。	町 市町村合併を契機に漁協の合併が促進されるかもしれないという問題はあるが、漁業権の問題は市町村合併をしたからといって一気にどうなる訳ではない。
▼質疑【調整方針№84】 合併した後で昆布森がどういう地域になるのか具体的なものがない。	町 全国どこの市町村でも協議を進めているが、具体的な将来像が描けずに、合併協議から離脱する市町村もあり、国が目標とする3,000自治体を1,000団体にするという目標も難しい状況にある。
▼質疑【調整方針№91】 新市で重点的に決めることは良いが、地域のイベントなど地域での話し合いが必要でないか。	町 イベントや祭りなどは、効果的にやるように調整猶予とし、これから決めることになる。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑【調整方針№116】 消防の一部事務組合処理をしての成果はどのようなものか。 ▼質疑【先行調整項目以外】 消費者協会の扱いは概要版には出ていないが、検討されているのか。 ■意見 皆、平等で公平でないといけないうが、釧路町でも現状は格差がある。今求めたいのは、現状以上にはならなくても、現状以下にしていけないのではないかとということで、広域でそれを行うのは難しいと思っている。	町 常備消防として機能し、施設が整備された。 町 先行調整項目には入っていない。これから話し合われることになり産業経済小委員会の所管事項になる。婦人団体、スポーツ団体等の例では、1年の猶予期間を以って組織内での調整が行われることになる。 委員 委員として住民生活小委員会に入っている。合併のメリットデメリットの関係でいうと、サービスは上がり負担は下がるのが望ましいが、住民生活の分野では市と町の関係では、市は変わらず、町は高くなる状況になる。特例債の使途については、都市拠点ゾーンの整備について活用するとすれば、主要事業を見ると市の施策が多くなっている。個人的にはメリットがあるのか？と疑問を感じている。 委員 委員として健康福祉小委員会に入っている。№29「重度障害児（者）交通費助成」は釧路町の委員が主張し釧路町の制度を採用することになった。各地域の事情を加味した調整がかなりある。 今日も小委員会があったが、音別町委員から付帯意見を求める発言があったり、地域によっては掘り下げていくと違いが明確になってくる。しかし、新市になるなら全てが平等でないとおかしいし、猶予期間についても期限を設けているものとそうでないものがある。町民は疑問を感じるのではないかとこの声も一部にあった。様々な意見をひとつにまとめることの事務局の大変さも判るし、地域の要望も判る。調整方針として、いいものがあれば新市になっても残していくよう努力したい。
○行政組織・機構に関すること ▼質疑 概要版 P36 心配事の 意見の反映に対する回答として、総合行政	町 財政計画での職員数は類似団体に合わせて削減効果を出している。現実的にはどういう組織か、とい

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
センターとして存続するため低下をまねかないというが、P16 には職員数が H15 年 2,478 名から H36 年には 1,695 名に減ることになる。これでセンターを維持できるのか、住民サービスを続けられるか。2～3 年はサービスの低下はないと見えるが、10～20 年後にはどうなる。 ▼質疑 新市で重点的に決めることは良いが、地域自治組織的な必要性の話し合いは行われているか。 ▼質疑 各市町村間のコンピュータのシステムはどうなっている。 ▼質疑 それが出来なかったら、職員の減員など出来ないのではないか。職員が少なくなると財政面での効果はあるにしても、サービスの低下にならないか、職員個々の負担が増えないか。	うことになるが、支所は残し、本庁はなくさず急なサービス低下をまねかない組織が必要となる。 全ての職員が残れるかという、管理部門は統括し、住民サービスの窓口を残すことになる。どれだけ残れるかは具体化していない。果たして財政の削減効果が可能か、広い範囲でサービスを維持できるか疑問が残るので、一定数の職員は必要になる。減らし方は自然退職の補充率を 25%にしている。結果的には、今いる市役所の職員の人数で新市の全部をカバーすることになる。仕組みが出来ればよいが。何処までサービス維持できるか。 交付税措置は 10 年間。一般的に 10 年は残せるだろうが、それ以降、財政状況によっては縮小も予想されるため、中心地が栄え郡部が寂れるのではないかと不安がある。職員が本庁にいくと町村は寂れる。10 年後の姿を想像することは、なかなか難しい。 町 話し合いは行われていない。 委員 口で「合併したら」というが、本音は釧路町という思いである。みな同じ市民だという考え方をしないといけない。合併した場合を考慮しての議論をしている。地域エゴを捨てて、合併の可否を判断しないといけない。 町 釧路市、白糠、その他の方式と 3 種類あり、その他にもシステムの違いがあり統一することになるが合併までに間に合わなくなるのではないか、その時は個別に影響が出ないようにシステムを継続して使えるようにし、合併後に調整しようとしている。 町 職員数について言えば、人口 2 万人の規模で適正な職員数が何人かという基準はない。仕事が増えれば職員が必要なのは理解する。新市建設計画では、新市の規模と形態に応じた職員数は、類似団体の数値を標準として設定している。サービスを維持するために職員を減らすことの疑問は出てくると思う。各部門でどれだけの職員が必要かという積み上げではないため類似団体の数値を用いている。「サービスは高く負担は低く」が基本だが、この財政状況では致し方ないことはある。しかし、サービスの低下を招くようであれば H36 年 783 名の減員を見直さなければいけないし、財政の再構築も必要になるが、現段階では、ハッキリとした見通しは立てられない状況にある。新市においても十分に目配りをさせていただき、そういうことにならないようにして欲しい。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 職員を減らしつつ住民サービスを低下しないように、どのようなシステムを作るのか。今後の協議か。システムがしっかりしていて専任職員がいれば職員は相当減らせる。予算は見ているのか。職員の減に因るサービスの低下はあまり心配していない。 ▼質疑 合併したら釧路市役所で庁舎は対応できるのか。 ▼質疑 新市になれば庁舎は釧路市役所だが、他の場所になることはないのか。 ▼質疑 庁舎も古く建て直しの経費が更にかかると思う。そんな話は出てないか。 ▼質疑 場所は決まったのか。 ▼質疑 支所はそのまま残るのか。職員が本庁に持っていけないのか。住民サービスが受けられなくなることはないのか。 ▼質疑 支所を残すにしても、本庁でなければ要件を足せないことも出て	町 組織機構は大事で縦割り行政と言われてはいるが、適正配置を考えないといけない。部門ごとに必要数を出している最中で絶対的に何人の職員が必要だとはいえないが、合理的なシステムを作ることで不要な人数も出てくると理解している。結果、不要職員が 700 名なのか、800 名なのか 900 名なのかは走り出さないと出ない結論といえる。一律に部署ごとに何人減らすということではなく、仕事と職員の関係なども考えて職員人事の管理をしなければいけない。規模が大きくなると職員管理は難しくなるので、当然そういう考え方でいかないと住民皆さんの期待に応えられるまちづくりは出来ないと思っている。 町 町村の役場は今までどおりの仕事ができるような機構を残すことになる。 町 協議会として決めたこと。正式に枠組みが決まれば書面で交わして正式に決定する。 町 今でも分庁舎があり、収容しきれない。庁舎建設問題を避けてはならない旨意見をいい、計画にも搭載されたが、何時行うかは明確ではない。 町 新市で建設する際に決めることになる。 町 各支所は現状のまま、機能を高めたいと考えている。役場本庁は行政総合センターを作ることになる。全員を置けるかと言うと重複する業務があり、選管、教育委員会管理課、農業委員会などはいらなくなる。また、人事部門、給与部門、企画・財政部門は不要になる。対住民サービスに必要な職員を配置することになるが、具体的に何人残すかの結論は出ていない。地域で切実なのは職員がいなくなり過疎になり廃れないかということだ。そのために職員が残れるように配慮をしている。 町 概要版 P8 の下段に主要事業として、生活バス路線の維持等が表記されている。路線バスには補助金

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
来るはずで、本庁への路線バスの整備や対応はどうなっているのか。 ▼質疑 釧路市長は執行方針の中で、支所の縮小を言っている。コンビニや郵便局を活用して支所機能を肩代わりさせれば不要になるというもので、これは概要版最終ページで言っている支所を残す、本庁を総合行政センターにしようという方針と相反しないか。数年は守られても、将来は新たな考え方で廃止も考えられる。将来も存続できるように担保を取るべきではないか。 ▼質疑 職員の給与は釧路市の制度を採用すると思うが、高くなるのか安くなるのか。 ▼質疑 給料が市の給料表なら、公務補・医療職も対応させることになり職場の均衡は図れるのか。 ▼質疑 東部消防と西部消防が一緒になるのか。その場合、消防の人数は減るのか。 ▼質疑 合併するなら、議員にしても職員にしても削減してでもやっていくという気持ちが必要になる。行政と住民が共に苦労することが求められ、委託も考えないといけない。	を出しており継続して補助する考え。また町村では代替バス運営も行っておりこれも継続していく。住民の足は現状のまま確保するほか、合併すると広くなり本庁までの距離も遠くなるので、市町村間を結ぶ循環バスがあれば良いという話もしている。 町 考え方は「地域でできることは極力地域で行う」ことで、将来的にも存続させる考えでいる。総合行政センターの機能としては、本庁で行うことができる管理部門を廃止したり規模を縮小する。住民サービス部門はそのまま残すというものだが、明確な人数までは具体的に協議が進んでいない。地域を見守る監視的な機能としては、地域審議会を設置することも考えられる。 絶対に担保できる保証はない。郵便局も民営化され、採算の取れない郵便局は潰されていくだろう。地域審議会も首長の付属機関で何の拘束力もなく、担保は取れない。当面の措置として監視することに留まる。 町 昔、釧路市は独自の給料表だったが、今は同じで、違いは町村は8級制で釧路市は9級制をひいていることである。高くなるかどうかの比較は、全体の比較はラスパイレス指数で比較できるが、釧路町の方が高くなっている。個々の給与の比較は難しい。 町 ワタリ（給料が上がる年数）も違い、技能職の最高位置づけも異なる。これからどう調整していくかになる。考えられることは、下げることは不利益を生じるので、上にあわせての調整にならざるを得ないのかと考えている。ただ細かな問題として、市町村間の調整、組合との調整もある。医療職、介護の給与表は分けないと難しいと聞いている。 町 東部消防から抜けて、釧路市消防・西部消防と合体することになる。東部消防から釧路町だけが抜けることになる。消防職員の具体的な配置は、新市になってから決まることになる。 町 一般的に経費削減というと人件費の削減が頭に浮かぶが、スケールメリットとして何人減らせるかということだけでなく、適正な人数・規模とはどの程度なのかを十分に勘案しなければならず、委託をする場合であっても、職員が不要になるわけではなく、おのずと限界があるので最低限必要な職員の確保

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 合併した後に、職員の配置数が変わるようなことがあったら困るし、情報化といってもパソコンをみんなが使えるわけではない。	が求められる。 町 情報化を進めるといっても万能ではない。ましてサービスを受ける側の住民にパソコンが行き渡るのが、どれだけパソコンを使うことが出来るのか。概要版だけでは読みきれないことも多いので説明会を開いている。 職員はそのまま新市に引き継がれ、合併後に職員の適正化計画を作る。5 年間は退職者の 25% の補充を行うこととしており、その後は類似団体の数字を用いて財政計画を作っている。目標数値は類似団体の数値で、行政面積も違うため安易にこの数値が使えるのか、という意見も出ていた。
○議会に関すること ▼質疑 議員数が 108 名から 38 名に減ってしまう。行政区域は増えるのに議員数は減る。これで本当に民意を反映できるのか、不安が多い。 ▼質疑 選挙区の話はいつごろハッキリするのか。 ▼質疑 議員が 2 年間の経過措置で、高いほうの報酬に合わせることは不信感を持たせないか。所得が倍増することになり、住民感情からどんなものか疑問がある。	町 議員の数は法律で決められた数で、合併時には 38 名となる。合併当初は 2 年間に限り在任特例で 108 名の議員となる。それは各市町村の事情や声を反映させるために認めたもの。2 年後には法定数の 38 名になり、選挙区を設けて住民の声を反映させるように考えている。 委員 合併の意義は経費を抑えることにあり、議員の削減は認めざるを得ない。合併すると判断したなら、受かった方に頑張ってもらう。皆さんも 2～3 名の選出された議員さんに託する考えに改めてもらう必要がある。手薄になるという心配はしている。 町 アンケート時期までに決まるかどうかは微妙ではないか。釧路町の選挙もあるし。 事務局 小委員会の中で議論がされ、法定数の上限 38 人では町村によっては議員の確保が出来ないと言う不安に対して、2 年間は全議員の身分を保証し、地方の声を反映し、意見が届くことで地域の不安を解消することとした。また報酬については、同じ市議会議員で格差があってはおかしいという考え方。小委員会では釧路市の委員から「金額は上がっても、地方の意見を尊重するためには必要な経費として見るべき」という意見で了承された。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 議員は 2 年間にわたり 49 万円の報酬額になるが、2 年間は長いのではないか。	町 今までは 6 市町村それぞれで議会の報酬額を決めていたが、同じ市の議員になる訳で格差はつけられない。新市の市議会議員としては 2 年間だけで、3 年目からは削減効果が生じてくる。
▼質疑 議員報酬は、議長も議員と同じ 49 万円ではいけないのか。	町 報酬の基準は 1 年間で何日活動するかということになるが、議長、副議長等はそれぞれの立場で日数が異なるため報酬額が異なる。また、現在の報酬との比較でいえば、同じ市の議員として格差をつけることにはならないため統一した額になる。
▼質疑 一律 49 万円に大幅に上げることはおかしい。6 市町村の議員報酬をプールして平均化すればいいのではないか。	町 大事なことは 1 県に匹敵する大きさになるため、議員の目が行き届くかどうか心配。2 年間は同じ市議となってまちづくりをする中で、心配することのない新市の体制を作ることが大事でないか。
▼質疑 議員の各市町村の報酬額は。 議員数は。	町 議長 31 万 1,000 円、副議長 24 万 9,000 円、議員 19 万 6,000 円。町村はそれほど差がない。合併後 2 年間は 108 名。それ以降は法定数の 38 名になる。
▼質疑 町議で合併賛成の人は何人くらいいるか。	町 議員個々の考え方なので賛成・反対があつていい。将来のことを考えて議論を深めれば良い、どの選択がいいのか皆さんからのご意見を聞きたい。
▼質疑 町の議員数は 18 名だが、自立した場合に、変更することはできるのか。	町 上限（26 名）だけが決められているので、条例で決めることができる。自立した場合でも定数については議会が独自に判断していくことになる。
▼質疑 合併の効果に人件費の減少があるのであれば、自立する場合でも人件費削減のため削減すべき。18 名では多すぎないか。地域ごとに万遍なく行き渡るように減らしてもいいのではないか。	町 18 名の定数は、どの地区から何名という決め方はしていない。町全体で 18 名のため、特定の地区で議員が集中することは有り得る。昔は地域代表の性格もあったが、全体を含めて住民の代表なので、細かく区域を割ってやるのはいいかなものかと思っている。
▼質疑 議員個々の、賛否は問うのか。	町 議会の判断になる。12 月までに一定の判断をしなければいけないが、議会の議決を要するものでは

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
■意見 町長の判断に対して、議員個々の採決を取って欲しい。合併に対する議員の意思表示を望んでいる。誰がどのように意思表示したかは、10 年後・20 年後に責任を明確にするためにも必要。今までは責任を回避していたと思う。 ■意見 今までの説明会で、協議会委員以外の町議会議員は一人しか出席していない。選挙運動もあって出席できなかったのかもしれないが、今日も誰も来ていない。明日以降に期待したい。 選挙前の新聞報道では、各候補の合併に対する意思表示には不満がある。どのように考えているのかを明確にして欲しいし、このような場で意思表示をしてもらいたいし、出席者の意向も知ってもらいたい。また、合併に反対の意見であっても、合併した場合の考え方も示してもらいたい。	ない。今は合併が前提ではなく、方向付けが求められている。しかし、議会の意見も十分に体していかなければならない。
○<u>合併の判断に関すること</u> ▼質疑 合併して町民が喜ぶのか。将来悔いが残らぬよう、町長の考えを聞きたい。	町 サービスが良くなり、負担が減るのが一番いいが、財政がパンクするのは明らかで、新市を作っていく際には財政のことも考えていかなければならない。現行サービスを維持するために負担をお願いすることもあり得る。どれくらいの負担になるのか影響を最小限にしながら考えていかなければならない。総じて負担のほうが増えていきそうな気がしないわけではない。 自立した場合はどうか、現行のサービスを維持していくためには 19 年度以降の説明（町長期財政計画）にあるように見積もっているが、世の中が変わるのでこのままいくとは言いきれない。人口が減っていくと財源も減少するため、資料にある通り「財源不足への対応」も考慮していかなければならない。合併するにしても自立するにしても、自治体は容易でないとおしなべて言える。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 137 項目の説明を総体的に見て、メリットは出てこない。釧路市の負債を含めて負担する感じがしてメリットが考えられない。今日の参加者は 7 名で、中味が分からない人が大部分でないか。最近の他都市の合併事例などがあれば、知りたい。	委員 昨年、8 名の議員で新潟市・黒崎町、長野市・松代町・小布施町を視察した結果を報告する。財政的にも豊かであった黒崎町は、合併する前に特例債を 10 年間で 700 億円使うとことが出来ると新潟市と約束したが、現実には 3 分の 1 位しか投資できなくなった。除雪サービスは低下し、メリットであった水道料金も合併の直前で新潟市が値上げをし、黒崎町はメリットを得られなかった。市長選挙の投票率も低下し行政に馴染めない雰囲気がある。都市計画税も新たにかかり、保育料も上がっていた。 長野県の小布施町は合併せずに自立を選んだ自治体で（長野市と松代町が合併）松代町は寂れてきたのに対し、小布施町は独自の施策を行い、観光客の入込みは増えたほか、花いっぱい運動を手がけたり、福祉基金として 5 億円を目標にして 1/2 を町民が、1/2 を役場と企業が出資し、その利子を活用して福祉に充てている状況であった。
▼質疑 釧路新聞に鶴居村、阿寒町の記事が載っている。両町村とも「自立できない」「合併しかない」という記事だが、そういう町村と合併して良い面があるのか。特例債は合併をしなければならないための手段になっているが、どのように理解すべきか。	町 鶴居村、音別町、阿寒町は合併問題とは別に小規模町村であるという問題を抱えている。最近の状況では国は本気であり、そういう状況を念頭においているのではないかと。 特例債は合併しなければ使えない起債で、新市建設計画に事業が掲載されていなければ特例債は使えない。有利な起債であり 70%が交付税で措置されると言うが、実際には半分程度しか措置されないのではないかと理解している。
▼質疑 12 月何日に合併判断をすることになるのか。	町 遅くとも 12 月中頃までとなっている。他の首長さん方の意向もあると思う。
▼質疑 合併の時期として H17 年 3 月までにはこだわらないということか。	町 国がてこ入れをするのは H17 年 3 月までで、過ぎれば手助けはしない。最近若干変わってきて、議決を経て申請手続きに入ったものは認めると緩和されてきている。仮にどこかが抜けて協議し直したとしても、基礎的なデータが利用可能であるので時間は短縮できると思う。 抜けた分の数字でデータを作り直して、合併できるかどうかの判断を新たにしなければならない。
▼質疑 釧路町が歩調を合わせられなかったとき、先々になって計画通りにいけなくなり、再度、合併が必要になったときはどうなるのか。	町 判断の苦しいところ。合併が全てかというところでもない。合併せずに広域連合で共通の仕事をやる方法もある。道町村会では、広域連合の仕組みに手を加えて新たな組織で考えられないかを国に要望しており、合併せずとも生き延びる方策がないものか選択肢を広げる努力をしている。国は合併するかどうかの選択しか示していない。合併をどうするか判断は難しいが、判断しなければいけない。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 ごみ処理問題など広域的に釧路市にお世話になっており、他の分野でもできるなら、そのような選択肢もあるのかなと思う。 ▼質疑 そういう内情が知られていない状況で、初めて聞く人が多い。上下水道の負担のあり方も判断の材料になると思う。 ■意見 合併はやってみないと先が見えない。長生きしないとわからない状況になるのではないか。結果を見ずにあの世に行くかも知れず先を読むのは難しい。慎重の上にも慎重を期して判断して欲しい。 この地区は恵まれた地区で、沿岸部や山間部の立場も踏まえて、我々も心してアンケートに望みたい。これから除雪のシーズンを迎えるが、今までよりも不便にならないように望む。 ▼質疑 大変な時期があってもやっていけるのではないかなと思う。やっていけなくなったとき国に逆らうことができるのかとも思うが、ダメになったときに考えればよい。	町 釧路市にお世話になっていると言うが、実態を理解して欲しい。下水道にしても、釧路市に全く世話になっている状況ではなく、相当の負担を町もしている。建設当初から応分の負担をしており、世話になっているのではなく、共同の施設として料金も払っている。一般的に市民は市の施設を町が使っているという印象しかないが、そうではないということ。しかし、釧路市が賛同してくれなかったらできなかったことなので感謝はしている。水道にしても同様で、セチリ太に給水するために何億円もかけて配水地を作り、水道管も町の負担で作って流してもらっている。さらに町では家庭用料金ではなく業務用料金を払っているので、結果として高くなる。それでも釧路市の水道を使って飲んでいると言われる。市民と同じ料金であればそう言われても致し方ないが、そうではない。釧路市にすると年間3億円くらいの収入が減ってくることになる。 町 新市の料金と比べると、下水道は町が安く、水道は高い。合算すると若干釧路町が安い状況にある。端的に言うと、合併するとこの部分は高くなる。その部分を自立するための財源にしたらどうなるかという考え方も必要。自立するためには、負担する覚悟も町民には必要なので、今後十分に議論しなければならない。 町 資料や統計を見ると暗いものが多い。人口は1/2に減り、町村にすると影響が大。景気の回復もわからない。国は合併と合わせて考えている。町村の数を減らせば地方交付税が減り、市町村の規模を大きくすれば仕事が能率的にできるから職員を減らせる、と言ってきている。基本的にそうではないのではないかと言っているが、国は耳を貸さない状況で見極めは難しい。見極めができないから国の言うとおりに合併するのか、できるところまで頑張るのか。20年先、30年先にどうなのかは一概には答えを出せない。今言えることは、合併するにしても、自立するにしても住民と行政が一体となって考えていくことが求められる。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 他町村の方と話す機会があるが、他町村では「合併しないとやっていけない」「今すぐにでも合併しないといけない」という主旨での説明会で、釧路町の説明会は他の町村の説明会とは違い、合併しない方の説明会という感じがする。 ■意見 合併の良し悪しは、数字で並べられてもピンとこない。どうすれば行政と我々が立ち向かっていけるか。パソコンで不便が解消されるというが、それでいいのか。こうして首長と膝を交えた場などが可能になるのか。痛みも伴う問題なので覚悟も必要だが、負担が増えるとか増えないということだけで判断は無理。削減した職員はどうするのか、リストラで仕事もない。大きくなって市民になれるということだけでなく、役場と住民が身近に話せる血の通った行政を大事にしたい。 ▼質疑 「おんぶに抱っこ」を「おんぶ」程度にただけでいいのか。住民も苦勞を共にしないとけない。自主自立を最初から言ってきたが、バブルの甘い見通しで農協も合併となった。合併は必要ない。皆頑張っている。多数決で決めるというが、自立してきた成果が今芽生えだしている。自分の腹は決まっている。合併しても住所が変わるだけで、人間関係は変わらない。よく意見を集約して判断してほしい。 ■意見 過疎地は更に過疎地になってしまう心配がある。農協を例にとっても、合併したときには優遇措置もあるが、時が経てば反故にされる。市町村合併も同じで、最初のうちは議員の特例などいいことを言うが、それがいつまで続くのか、反故にされないかという心配はある。	町 合併したほうがいいのか、しないほうがいいのかの拠り所は、町で作成した長期財政計画でしかない。今の制度を維持した場合の試算で、苦しい時期はあるが H25 年度には貯金の額が回復してくるが、決して楽な財政ではない。その上で、釧路町は合併しても、自立してもやっていけます、ということで説明会を行っており、決して合併を否定した意図で行っている訳ではない。 町 合併するにしても、自立するにしても楽をして過ごせる状況にはならない。どちらを選んでも行政と住民は思いを負擔し合わなければいけない。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
■意見 自分たちのメリット・デメリットを見て決めたいが、解からない。肝心なことは新市になってから決めることが多い。何より大事なものは職員の質の問題ではないか。 ▼質疑 合併は行政主導になっていないか。農業、林業、酪農、水産の方々が集まり協議し、その人たちが主体にならないと合併できないのではないか。その人たちの盛り上がりで合併するなら良いが、合併した後で話し合いをするなら何もならないのでないか。サービス等の調整よりも優先して話し合うべきでないか。合併はみんなの気持ち一つにならないと難しい。 ▼質疑 1 次産業のことがあまり表面に出ていなかったもので、どうなるのかと思い質問した。抜けることを選択した後で、財政が厳しくなったので入れてくれといっても、村八分に遭うと大変でないか。 ▼質疑 アンケートにより町民の意向を把握するというが、町民の合併に対する意識が低すぎる。この説明会も対象地域の 2%程度の出席率で町民の意思がつかめるのか。 ▼質疑 もし、今回合併しないで、H17 年 3 月以降に苦しくなって合併し	町 釧路を止めて 6 市町村に踏み切った。その思いの一つは、釧路市の経済の落ち込みを 1 次産業でカバーできないか、そのような途を探そうというものであった。 農業・漁業・林業の組合では行政とは別に取り組んでいる。中身を見ると漁業も農業も組合間に力の差があり、できるだけ組合を合併し強固にしていこうという方針。市町村が合併したから農協が合併しなければならないということではなく、それは組合員が決めることになる。1 次産業の方々だけを対象にした説明会はしておらず、同じ住民の立場での参加をお願いしている。 協議会委員として、漁業・農業・林業・商工業の代表など 19 名が選出されており、そこで 1 次産業の問題も協議をしていただいている。他の市町村も同様の対応をしており、1 次産業を軽んじているわけではない。合併後はどうなるのかを協議していただいている。 6 市町村での協議は合併を前提としておらず、これから合併を前提とするかどうかの判断が求められることになる。抜けると新たに協議会を作らなくてはならない。抜けることになったら、新しい合併先を探すか、自立していくかの 2 通りの途しかなく、今はそれを皆さんと一緒に考えようとしている。 町 合併した後に、約束したと違ふからといって抜けるということとはできない。また、この段階で抜けた後で合併が必要だというのも大変で、どちらにしても決断をした以上は、何が何でもやり抜くしかないだけに、難しい選択になる。 町 出席者の少なさにはがっかりしている。しかし止める訳にもいかない。どこの会場でもいいから参加して欲しいと言ってきている。 アンケートの結果 50%に満たなければ判断は難しくなる。参加者の声も尊重しなければならない。独断的に一方的に決めることは出来ない。議会とも意思を統一して決めたい。 町 北海道の市町村面積は大きいので、合併するととてつもなく大きくなり、中心地から離れたところで

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
たいとなったときに可能か。 ▼質疑 釧路合併はないのか。 ■意見 6 市町村では広範囲すぎる。いずれは合併しなければいけないにしても、早急にはしないで欲しい。 ▼質疑 不景気だし、合併はやったほうが良い。みんなが合併すると言えば合併することになるのか。 ▼質疑 町の長期財政計画を見ると、合併しなくてもやっていける。持ちこたえることが出来るなら今まで通りのほうが良い。 ▼質疑 合併の協議が進んでおり、この段階で反対することが出来るのか。 ■意見 いずれは町としても合併すると思うが、今合併することの意味もなく反対。 ▼質疑 合併はどうしてもやらないといけないのか。財政計画を見ると単	はサービスが難しくなる。合併とは違った形態であるが北海道に合った方式がまとまりつつある。北海道の特殊事情を頭に入れながら検討している。 町 当分ないと思う。 町 皆さんが判断することで、アンケートの結果を尊重する。 今、合併できなかったとしても、5 年後、10 年後に相手がいれば合併できないことはない。 町 自治体には分権を行い国は権限を委譲するというが、その為には財源が必要。自分たちで賄うことができる市町村を目指す国の方針は変わらない。しかし、国からの補助には限界があり、町の財源をどう使っていくか。自主独立するなら、行政への理解と協力が必要で、そうしないとやりくりは出来ない。 合併に反対というなら、腹構えが必要になる。自分たちの町は自分たちで作る。その為の財源は新たに生み出さなければならない。幸いにも釧路町は人口も増えており税収も増が見込める。町独自の財政計画は実体に近いものといえる。それらの状況を含めてアンケートに答えて欲しい。 町 この協議会は合併が前提ではなく、どのような新市になるかを話し合ったもので合併可否の判断材料を提供しており、皆さんに判断していただく。 町 必ず合併をしなければならないということではなく、現段階では協議会に留まるかどうかの選択が必

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
独でもやっていけるのではないか。合併することにより役場職員が減り、目が届かなくなることが心配である。職員、住民が皆んなでカバーすればやっていけないか。 ■意見 必ずしも大きくまとまる必要はないのではないか。6 市町村の枠組みは大変で、苦しい時期があっても我慢してやっていけるなら合併する必要はない。 ■意見 将来的には広域合併が理想的だが、具体的に中身を見ると不安が残る。仮に合併した後であれば、後戻りは出来なくなる。構想として道東の大都市建設を目指すというが、どのようにまちづくりをしていくのか考え方が見えない。それが見えないだけに判断が難しい。現状、合併しなくてもやっていけるのであれば、急ぐ必要はない。各市町村の資源を生かして、将来の夢があり、新住民として心をつなげて新市を建設していく土壌が出来るまでは、時間をかける必要がある。 ▼質疑 釧路町は過去に合併を経験し、行政と村民が協力して村づくりをしてきた。先代が苦労して築き上げたのに、新しい住民として行政と共にまちづくりすることが出来るのか。 ▼質疑 1/25 の道新記事の、合併しなかったときの財政予算は判りやすい。合併しない場合は釧路町を除いて赤字になるという。また、TV で首長の意見を聞いたが、このままでは財政パンクという声が多い。釧路町は何とかやっていけると思う。特例措置がなくてもやりくりできるならやって欲しい。なぜ、他町村の助けをしないといけないのか。「豊かな自然の恵み・・・日本一広い東北道の拠点都市」は誇っていることなのか。拠点都市は今の釧路市のことで、合併し	要になる。判断材料として概要版と町の長期財政計画を示しているの、見比べて判断して欲しい。 町 釧路合併の際は、財政再建団体として行政と村民が共に村づくりで汗を流し、10 年の計画を 9 年間で成し遂げることが出来た。広域合併も同様に、新しい住民と新しい行政が同じ目的に向かい、同じ気持ちを持って取り組むことが出来るか、それが大きな鍵になる。 町 最初は釧路合併でスタートし、6 市町村での合併問題が出てきた。当初の狙いは、釧路市の状況、他町村の一次産業、観光産業の面から、地域が広くなり有効なまちづくりをする場合の検討が必要ではないかということで 6 市町村で話し合いが始まった。この発想には価値があると思っている。説明会で皆さんの意見を聞いていると、概要版での建設計画に肝心な事が見えてこないことに疑問を持たれているのではないかと感じている。具体的に一次産業をどうするとか、町民の皆さんには判らない部分ではないかと思う。 なぜ合併が必要かということだが、町長から話したように協議会は 4 市町から 6 市町村になった経緯

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
た町村にメリットはあるのか。次の世代にマイナスの遺産を残してもいいものか。今の借金の現状はバブル期の建設のつけが回ってきている。釧路町は健全・堅実な行政の結果、行政的にも余裕があり、人口の推移も他町村とは違っている。大局的な見地からは合併も必要かもしれないが、合併には疑問を感じている。	がある。財政的な格差もある。なお、釧路町だけでも自立は可能。しかし、今後更に皆さんに負担していただく場合も想定される。合併したら良いかどうかは皆さんの判断による。また、広いことがいいのか悪いのかは、その人によって考え方は違うだろう。広いことで資源の有効活用が図られる反面、サービスの不徹底に不安を持つ人もいる。 いずれにしても、合併しても大変、しなくても大変なのが、今の市町村の状況。結果どうするのか、行政も努力をするが一方で町民の協力ももらう場面が出てくる。合併した場合の姿は概要版で、自立する場合の財政状況は町長期財政計画で、両方を示し、結果皆さんに判断を願う。 委員 委員として参加し、質問等を行っている。新市の建設計画はバラ色ではなく、明確でないものが多い。町村の総合計画を尊重するという担保がない。サービスの調整では、地域格差が埋められるのか。急激な負担増はないのか。自立を選べば、町の財政計画が更に細かく町民の立場に立って練り直される。合併反対の立場で自立の道を選ぶべきと考える。 委員 全体の協議会は 116 名の委員で発言するにも勇気が必要。小委員会ではデータを持ち自分の考え方をしっかり持たなければ難しい。総論では賛成でも、各論になると格差が出てくる。先行調整項目で 137 項目が示されているが、残りの 1,000 項目以上もあり、保証・確証があるのか。釧路市鳥取の合併を経験して、合併の難しさを痛感している。合併をするには痛みも覚悟も必要になる。 委員 先日、消費者協会の集まりがあった。報道を呼び団体として 4 地域でアピールしたいということで意見を求められたが、今答えが出ようという時期に何で必要なのかと感じた。町議のアンケートで反対意見が多く焦っているのかもしれない。 委員 単独でいけるのか疑問。若い職員は真剣に考えて欲しい。裕福ではなくてもいいがやっていけるのか。自分としては、子供や孫に託すと将来のこともあり、もしできないときのことを考えると、個人的には半々の状態で、まだ判断できない。職員が知恵を絞って考えて欲しい。町内は合併しなくてもという空気があるが、市の方は違う感覚で語っている。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 アンケート調査は賛成・反対だけの項目だが、理由などは必要なのか。	町 6 市町村での枠組みを 12 月までに決めるもので、聞き方には色々考えられるが、進めるか進めないかの 2 通りしかない。枠組みについての意見を聞くためのものではない。設問数が多いと回答しづらい面もあり容易にしている。結果は 11 月 20 日に公表し 12 月広報でも行う。
▼質疑 アンケートの設問では、何を判断材料にしての「可否」なのかかわからない。アンケートは無記名か。	町 Yes か No かの二者択一。このアンケートでは 6 市町村の枠組みで賛成か反対かを端的に聞くことになる。色々な聞き方があるが、6 市町村以外の枠組みの判断の必要があれば、その後の対応になる。アンケートは当然無記名で実施する。
▼質疑 仮にアンケート調査の結果、回収が 50%に満たなくて、合併賛成が多かった場合はどういう判断をするのか。	町 それがどのような結果であろうと、アンケートの結果は尊重しなければならない。議会と相談しながら決断をしたいが、議会も町民の負託を受けている以上、アンケートの結果を受け入れてもらわなければ民主主義のルールに反する。場合によっては、議会の特別委員会が公聴会を開くということも考えられるが、いずれにしても町民の意思を無視した結論を出すことは出来ない。
▼質疑 アンケートの結果を尊重すると言うが、議会が議決権を持っているのではないか。 町長の判断と逆の決定を議会でした場合はどうなる。	町 今回は、協議会に残るかどうかの判断であり、議決を必要とするものではない。 アンケート結果や説明会での質疑内容を見極めながら、執行者と議会が同じ認識を持つ必要がある。町民の意見の判断を求め歩調を合わせるべきと考える。
▼質疑 アンケートは 1 世帯に 1 つ。我家は 6 人いて意見集約は大変。他町では高校生や小学生にまで意見を聞いている。アンケートの対象を変える考えはないか。	町 家族の意見はまちまちかもしれないが、十分に話し合っていて最大公約数的に結果を出してもらえないかと思っている。次代を担う世代のために、現役の世代が責任を持って引き継ぐよう判断して欲しい。
▼質疑 合併はサービス等の調整から議論しなければならない。結果、合併して釧路町が安くなるものは一つもない。しかし、それだけで判断して良いのかとも思う。今までにどれほど説明会に参加しているのか。一度も来ない人がいるのではないか。そんな中でアンケートで判断して良いのか。もっと、グローバルな考え方も必要ではないか。	町 H13 年から合併問題については説明会を行ってきている。最初は合併特例法の説明会で、その中で問題になったのは、声が反映されないことや、財政的なメリット、負担の増減問題が提起された。この段階では国の考え方に町民は納得していないと感じていた。行政間（釧路市・釧路町）の境目はなくなっており、相互に施設の利用が行われている。国が言っている便利さはすでに実現しており、こういった面での合併のメリットは理解できないだろう。今の段階で、心配事はこう解消できると納得できるかと

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 337 人の中には重複参加の方も多いと思うが、大事な話し合いをしているのに理解しているのか。その上でアンケートがあるべきで、そうでなければ、議員やよく知っている方々が方向性を決めることのほうがベターでないか。 ▼質疑 若い人の参加が少ない。これからの時代を支える若い人の参加を促すために、アンケートの中で、借金は若い人に残ることを、伝えられないか。 ▼質疑 アンケート回答に「わからない」があれば、それが一番多いと思うので、現実的な選択肢があっても良い。 概要版を見ていると頭が痛くなる。簡易な資料を作ることは出来ないか。アンケートに同封するような工夫を出来ないか。 ▼質疑 小中学生等への啓発・啓蒙を通して、家庭内で関心を持ってもらえるのではないか。 ▼質疑 アンケートの返信用封筒に、氏名・住所等の記載はないのか。	うか、理解できないなら自立していこうということになる。その辺の判断をアンケートに反映して欲しい。20 回分の出席者は延べ 337 名。 町 合併をすると町がなくなってしまう。実体はあるにしても生まれ故郷がなくなってしまう。これは大事なことはないか。皆さんで真剣に考えなければいけないことで、これは当初から言っている。 一人でも多くの方に集まってもらい、皆で議論しながら方向性を見出すべきだと話しているし、それは理解されていると思うが、残念ながら参加者が少なくなってきている。 合併は行政に任せれば良いと考えているのかもしれない。概要版の発行が当初より遅れたが、完成したら説明会を行うと約束してきた。今後、町内会単位で行うことがあれば対応したい、現状を理解いただきご協力を願う。 町 アンケートの中に、情報として盛り込むことは適当ではないと思う。 町 簡易的な資料については考えさせてください。「わからない」という回答が多い事に関しては、合併に賛成か反対かの択一で、3つの資料（ダイジェスト版、概要版、長期財政計画）で判断願う。 子どもたちにとっての良し悪しは大人が判断して次の世代に引き継ぐべきでないかと考える。世帯に1枚は、家庭の中で十分にコミュニケーションを取りながらまとめてもらいたいという思いがある。 町 小中学生を対象にしたアンケートや説明会はない。模擬議会を開催した際に合併問題を取り上げたり、文化祭の壁新聞で合併を取り組んでいる例はある。アンケートは1世帯に1枚なので家庭の中での問題として、家族ぐるみで話し合い決めていただくことになる。最良の方法と思い実施しているが、具体的な提言があれば実行したい。 町 プライバシー保護の観点から、一切書くことはない。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 不正防止の意味から、不在者投票のように内封簡化すれば良いのではないか。 ▼質疑 とにかく回収することが大事で、町内会未加入者は郵送、町内会加入者は町内会が回収するなどの町内会としてのお手伝いは可能ではないか。 ▼質疑 提案だが、回収期日の前日にでも防災無線を使って、町長自らが回収のお願いを出来ないか。 ▼質疑 アンケートの開封作業には立ち会えないか。一般の見学等の検討を願いたい。 ▼質疑 アンケートに関して、家の中での議論がまとまらなかった場合にはどうすればいいのか。 ■意見 沿岸部と都市部の違いが極端にあり、歩調を合わせるのは難しい。以前と考え方も変わってきているようだが、世帯のアンケートでは考え方を一致させるのは難しい。アンケートがいいのか住民投票がいいのか複雑な気持ちだ。 ▼質疑 アンケート集計結果で 50%未満と 50%以上では扱いが異なる。50%未満の場合は町長の判断が大きなウェートを占めることになる。町長はどのように判断するのか。	町 今回は 9,000 枚程度になり、不正を想定して内封簡化を実施する考えはない。来ていないと言われたら、送らざるを得ない。町民の皆さんを信じて、総意を知るためのものと考えている。 町 当初、町内会を通しての配布を考えていたが町内会加入は 85%で、全てを掌握していない、町内会は自主的な機関で行政の下請けではない、海岸地区では 3 世代同居世帯もある、などから住民基本台帳を基本とすべきと判断し郵送で配布することとした。 町 良い提案で可能だと思うので、前向きに検討したい。町内会には回収についての回覧など、こちらからもよろしく願いたい。 町 11 月 20 日の朝から、協議会委員の立会いの元、公開で職員が開封する。作業時間も開封してからの集計作業になり相当かかるものと想定され、選挙のように速報を流すことは想定していない。このような条件がつくことをご理解いただければ可能と考える。 町 現実には考えられること。白黒付けられなければ無効になってしまうが、そのまま返送して欲しい。そういう意思表示があってもやむを得ない。 町 よく質問されるが、当初から合併の問題は町民にとっても重要なので、十分に議論したうえで意見を出して欲しいと言ってきている。アンケートもその延長で皆さんの意見を知りたいために実施する。50%未満の回収率の場合、その意見だけで判断するのは如何なものか。参考にしながら、そして議会と

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 アンケートは郵送が原則だが、町内会で未発送の方に声を掛け、預かって届けることがあっても良いか。そうすれば一人でも多くの方の意見が集められる。 ▼質疑 釧路市のアンケート回収が 30%程度で期日を延長したが、釧路町では締め切り期日は厳守か。猶予期間などは考えていないか。 ▼質疑 アンケートの中身は、概要版から抜粋するのか。 ▼質疑 アンケートは賛成反対だけで記入欄はないのか。説明文はあるか。現状での損得、利害関係だけで決めるのは淋しい。10 年後、20 年後に将来に悔いが残らぬよう、大人が判断するために何らかの説明文があるのかを聞きたい。 ▼質疑 アンケートに寄せる町長の思いを文書にして、アンケートに同封できないものか。 ▼質疑 地区としては反対であっても、アンケートの結果、全体で 50% 以上かどうかで判断するのか。	は表裏一体でもあり議会とも相談し、町長としての考えも述べながら決めていきたい。 町 強制でなく、無理に書かせたり、中身の指示をしないのであれば、そういうことも結構ではないか。 町 11 月 19 日締切りで、17 日の消印が有効で締め切った次の日に開封しようと思っている。町が期限を延ばさない限り、直接届けてくれるケースが何件かはあるかもしれないが、そんなに多くの数にはならないと想定している。 町 6 市町村の合併が正しいのかどうかを聞くアンケートになる。枠組みについて聞くわけではない。より具体的な判断基準になるのは概要版になるが、判断基準は人それぞれで各自の思いで判断していただきたい。概要版でメリット、デメリットの全てが分かるかというのではなく、まだ調整項目も残っているが、自分の考えで回答して欲しい。 町長 記入欄はない。 アンケートにする理由、世帯で行うこと理由は、家庭の中で子どもも含めて話し合ってもらい、その結果を反映していただくという期待を込めている。次の世代に引き継ぐために、大人の責任でアンケートに答えてもらいたいと思っている。 町 説明会で質問があった場合には、その旨のお願いをしてきている。 アンケートは書きすぎても効果が薄く、簡潔にすることを心掛けている。 町 皆さんの声を無視しては決められない。町民の考えを集約するためにアンケートを行うので、隣同士声を掛けて一人でも多く回答できるよう願います。 アンケートは地区ごとにするということではなく、無記名により賛成・反対を判断してもらおう。全町

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 アンケートに通し番号などをつけて、回答者が特定されるような心配はないか。それに気づいたら本音で回答できなくなるのではないか。 ▼質疑 アンケートの配布、期間、方法について知りたい。 ▼質疑 アンケート実施後の具体的な日程はどうなるのか。 ▼質疑 このアンケートの方法は、釧路町独自のものか。 ▼質疑 アンケートの集計が極端に低くならないかと懸念する。低くならないための方策は。 ▼質疑 以前から町長は「勇気ある決断をする」と言っているが、50%以上で決まれば勇気ある決断ではない。決断するなら先に自分の考えを述べたうえで町民に判断させるべきで、回答が低かった場合になって、初めて町長の考え方を示すというのはどのようなものか。	で9,000世帯ほどあり、家庭で十分に話し合って欲しい。50%以上の回答があり、60%以上の判断があれば最大限尊重し、それを下回ったら判断の参考にする。多くても少なくとも最終的に町長が決断する。 町 色々な心配事もあるが、キチッ回答してもらえることを前提にしており、行政が恣意的に行うことは絶対はない。 町 配布は10/31郵送。11/17消印有効で返信用の封筒が同封されている。（返信封筒は住所、氏名等は無記名）11/19には届くので11/20開封。報道機関に結果を公表し、町報12月号でお伝えする。 町 合併協議会の予定は12/26の協議会で全市町村の意思を確認する。町の場合は、11/20に開封結果がわかり、町長が議会との意志統一をする。12/26までには明確になる。 町 アンケートの手法は違って複数で実施すると聞いている。釧路市は無作為抽出による1万人アンケートを行い、合併に対する傾向を把握するために5項目からの選択で意見欄を設けている。合併の判断は市長の考えと議会の判断により決めると聞いている。阿寒町は高校生以上を対象にアンケートを予定し、白糠町もアンケートをする考えがあるようだ。参考として、鶴居村は説明会を行い村民の意見を聞いた後で、最終的には村長が判断すると聞いている。 町 説明会を23回予定、広報でのPR、啓発ポスターの掲示、防災無線を使って町長が呼びかける、報道機関の利用、町内会を通じての回覧などを考えている。 町 どこかで必ず決断しなければならない。その前に、住民の意見を十分に知っておく必要があるため、その手法として家族とも相談できるアンケートを選択したのでご理解を願う。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 6 市町村で抜ける町村が多く、釧路町が合併賛成だった場合、安易に釧路市と釧路町が合併することになるのか。 ▼質疑 その場合、再度新しい 枠組みでのアンケートを実施することになるのか。 ▼質疑 賛成・反対のアンケートであって、抜けるからといって自立することの選択ではないのではないか。抜けた場合、合併の期日の期限などはあるのか。どこかとまた協議した場合でもそうなのか。 ▼質疑 アンケートの結果、合併しない選択をした場合、協議会解散後に、合併したい市町村が出てきてもどこであっても合併しないということか。 ▼質疑 アンケートではなく、住民投票がいいと思っているが。人口と世帯の比率は。 ▼質疑 概要版では合併した後で決めるということが多いのに、今アンケートで決めることはどうか。後で後悔するかもしれない。それでも結論が必要か。	町 この判断は、6 市町村の枠組みでの判断になるため、1 市町村でも抜けると仕切りなおして、現在の合併協議会は解散することになる。 町 新しい 枠組みを含めてどうするのかを町民、議会、首長の判断で行うことになる。 町 反対であれば合併協議会から抜けることになり、釧路地域 6 市町村合併協議会は解散する。 ご破算になれば、皆同じ状態になる。合併の相手があって合併できるのであって、こちらから声をかけるか、外から声がかからない限り自立せざるを得ないことになる。 支援措置を受けるなら 17 年 3 月だが、支援措置を受けなければ期限は関係なくなる。 町 新たにアクションがあったにしても、町長一人の判断ではなく議会とも相談のうえ、決めなければならない、急に答えは出せないだろう。少なくとも特例期間内の 17 年 3 月までには難しいと思われる。 町 世帯数 8,970 世帯。有権者 17,000 名程度。 アンケートが住民投票か悩んだが、やってみないとわからない。住民投票となると投票率も下がってきており、アンケートで住民意思の方向性を判断できていると思っている。 町 協議を進めるか、抜けるかの選択は絶対に必要になる。合併を目指すなら残り、自立を目指すなら抜けることになる。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
○<u>合併協議会に関すること</u> ▼質疑 概要版の中身はどのようにして決められたのか。 ▼質疑 一般の住民が納得してもらえるような話しをしているのか。 ▼質疑 概要版最終ページのメリット、デメリットの項目ではデメリットが書いていない。デメリットはないのか。 ▼質疑 新聞に町が抜けた場合という記事があったが、合併協議会ではどのような対応をしているのか。他の町の委員から「釧路町は抜ける」と言われたが、報道との関連を知りたい。 ▼質疑 協議会の中で腰の引けた意見があれば、そう受け取られることはあり得る。合併の是非について協議をしている筈で心外だが、そういう受け取られ方をしているのかと感じた。 ▼質疑 釧釧合併から広域合併での協議になった背景はどのようなものか。広域合併のメリットは。	町 各市町村の総合計画やサービス等の調整案を持ち寄り、協議会に参加している各委員が良しとして出来たもの。 町 最後には財源をどうするかになり、どの事業をしていくかは新市になってからの協議になるが、概要版は新市の目標の姿だと思っていただきたい。 事務局 以前発行したダイジェスト版での留意事項、アンケートで寄せられた不安への回答ということで編集しており、検討した結果、こういうメリットがあるということで掲載したもの。 町 新聞報道で知り得る範囲では、12 月の判断の結果、市長はどこかが抜けた場合であっても「残ったところで合併したい」という主旨と理解している。 協議会の中では「脱退云々」という発言は一切していない。委員が発言したようなこともない。色々な要素からそのように推測されることはあり得る。人口は唯一伸びており、財政的にも豊かと思われている。「釧路町が最初に抜けるのでは…」という声は私も聞いている。住民レベルでは自由に話されて構わない。 町 職員の立場で全ての小委員会、協議会に出ているが、釧路町は最も積極的に発言をしていると思っている。委員さんは、面倒なことは新市になってからという立場にはない。意見のぶつかり合いはあったと思う。 町 産業が停滞する中で、将来の釧路圏の発展を考えた場合に、釧釧より大きいほうが周辺町村の一次産業の底辺も広く活性化が可能ではないかと議論を提唱してきた。現実には議論した中では、具体的な問題が出てきておらず、現状の姿からまとめてきたという状況にある。 6 市町村の行政面積は広大で、県に匹敵する面積がある。スケールメリットを期待できる部分と、逆にスケールデメリットになる場合も想定される。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
○<u>国や道の動きに関すること</u> ▼質疑 道州制が議論されている。道内の合併は道州制が認められてからでいいのではないか。 ▼質疑 合併しなかった場合、国からのペナルティはあるのか。 ▼質疑 離脱するとの声が多く離脱した場合に、国からのメリット・デメリットはどうなるのか。 ▼質疑 特例債は有利な条件で事業が可能というが、町にはメリットがないと考える。今、道州制が言われているが、そうなると市町村合併も「合併したくない」と言いつらくなるのではないか。 国は、合併をさせたいということか。	町 性急な合併ではなく、じっくりと話し合いをして進めるべき。広域連合による取り組みを踏まえるなど合併の機運が出てから合併するべきとの意見が多い。突然、道州制の話が持ち上がっているが権限を委譲するにはそれなりの財源の委譲も伴うべきである。現在は財源問題がネックではないか。 町 ペナルティはないと考えている。ただ、合併とは関係なく交付税額は減ってきている。合併しないことで更に交付税額は減ってくる。 町 今日の新聞によると合併に反対していた矢祭町の町長が永年表彰の対象からはずされた。本来あってはならない、やるべきではない。合併する、しないは住民の意思による。 罰則的なことがあってはならないが、現実的には報道の通り。国からの支援は減少傾向だが、ゼロになることはない。自立できるかどうか、不足する財源は町の中で考えなければならない。例えば、職員・議員の減が必要かもしれない。そうしないと埋め合わせが出来ない。それが出来ないなら、合併を選択するしかない。 釧路町として独自の長期財政計画を立てたが、H19 年以降は何とか黒字になる見通し。この通りできるのかと言えば困るが、シミュレーションは不確定な条件下での試算。交付税がどれだけ減額するのか定かではなくここでは 20%減の推計をしており、最終ページの財源不足の対応策はシミュレーションには反映していない。地方自治体は自立していかなければならず、国におんぶに抱っこではない。 合併しても大変。しなくても大変。合併してのメリットは不足施設には有利な支援制度がある。必ずしも甘い飴とは限らず、辛い部分として借金として残ってくる。使うときは良いが、返すときには大変な思いをするのではないか。決断するにしても皆さんの考えがどこにあるのか、十分に知らなければならず、説明会に取り組んでいる。 町 道州制は、今の県以上の権限が与えられること。これからは町村も力を付けることが求められており合併の必要性があるということ。 北海道の財政も不安であり、このことは市町村と関係ないとは言えない。国は交付税を減らそうとしている。道州制により「北海道に任せたら」と言われたら推移を見なければいけない。どういう条件なら道州制や合併を受けられるのか、検討しないと判断できない。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 起債をするときにブレーキをかけられることはないか。	町 釧路町は借金も少なく、借金することは可能だと考える。
▼質疑 合併の期日は H17 年 3 月までとなっているが、延長はないのか。	町 17 年 3 月までに合併すれば支援策が受けられるが、法改正により、17 年 3 月までに議決を得た場合には期間の延長が認められることになった。
▼質疑 これから進む地方分権で、国との関係で合併しなかった場合の影響や心配事はないか。	町 小規模町村の扱いについての議論はあるが、合併そのものについて言えば影響はないと考えている。
▼質疑 不安なのは、合併しなかった場合にやっていけるのか。小規模自治体の扱いについての最新情報はあるか。合併するか自立するかの選択、地方自治でのその他の選択肢があるのか、その実現性はどうかについて、情報があれば説明して欲しい。	町 地制調の答申が出る 11 月にこれからの地方自治がどうなるかが判る。小規模町村として 1 万人を明記するかどうか。地方 6 団体は反対しているが、一つの基準になってしまう可能性がある。小規模町村に対する交付税の段階補正の補正係数は高く、既に見直しされている。合併特例法の期限後は更に強まる。法人格をもった地方自治体として残すかどうか。あるいは、知事の権限を強化したり、小規模町村の権限を剥奪するなどが中間答申で出ていたので、恐らく本答申でも出てくるだろうと考えられる。そうなると 17 年 3 月以降に地方自治法の改正はありえる。 小規模町村をどうするか、合併しなかったところへのペナルティは明記されていない。小規模町村ほどこの先は厳しくなるが、これからの地方自治は見えない。北海道は人口要件だけではなく産業要件、面積要件を強く言っている。地方に都会の理論はあわないと、道町村会は一生涯懸命やっている。全国的なレベルでどのように判断されるか見守っている。
▼質疑 合併しなかった場合、国の助成額が少なくなりやっていけるかが心配。	町 町の長期財政計画は、合併しなかった場合の試算で、国からのペナルティはないと想定している。今ある制度で推計している。三位一体の改革が今後どうなるかによって、推計どおりに行かない場合も十分考えられる。
■意見 市町村合併は国が財源不足のため、地方に金を回せないから言っていることだ。不要な事業をしているために地方に回す金がなくなっている。だからいつまでたっても合併の話はなくなるらない。合併	町 雇用問題や消費対策を含めて、バランスのある政策を考えていかなければいけない。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
にはリストラが付きもので、回避するためには職員も町民も一緒に頑張らなければ、ともに潰されてしまう。職員の購買力が減ると地域の経済も悪くなる。 ▼質疑 平成 17 年 3 月を過ぎると、特例措置はどうなるのか。 ▼質疑 昭和の大合併のときに、合併特例措置はあったのか。	町 国では財政支援はないといっている。地方制度調査会の本答申が出ることで方向性が見えてくる。 町 財政的な支援はなく、合併後の計画を作成し予算要求する形であったが、予算要求なので実現できなかったものが多かった。今回は法律で決められたことなので、特例措置は必ず実行されると総務省は明言している。
○その他 ▼質疑 相当以前に町長が、炭鉱がつぶれて心配だといわれた真意は、また、釧路市のダメージは相当大きいのか。 ▼質疑 明日から釧路市で住民説明会が始まるが、15 箇所では少ないのではない。市民になる可能性もあるので行ってきてもよいと思う。どのような反応か興味がある。 ▼質疑 他の町村の反応はどうか。 ▼質疑 町の職員は合併のことを知っていると思うが、今日は 11 名出席しているのに、なぜ他の会場には来ないのか。 ▼質疑 今まで何回か説明会が開かれている、職員はどう思っているのか。	町 炭鉱が閉山しコールマインで 500 名が再就職したが、1,000 名の従業員の再雇用や家族の問題、石炭の収益も下がり市の経済にも大きな影響を与えたことを心配して発言した。 釧路市のダメージについては、数字的には把握していないが、大きいと思う。 町 自治体ごとの考え方もあるので、どうとはいえない。市の説明会に行かれることは結構だと思うし、釧路市の方が釧路町の説明会に来ていただいてもかまわない。 町 新聞報道から大きく外れていないのではないか。 町 職員対象に 2 回 80 名を対象に、別途説明会を行っている。その説明会に出られなかった者、更に、各地区での説明会の状況を知ってもらうために参加を促している。 町 今まで合併関係の説明会は 30 回以上行っており、600 名ほどが参加している。その中でも賛成の意

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
か。反対の人ばかりで今まで賛成の人はいない。なぜ賛成の人が来ないのか不思議に思っている。 ▼質疑 釧路市の説明会にも出たが、アッサリした感じで全然雰囲気が違う。この差は何なのか。 ▼質疑 妹は釧路市に住んでおりケーブルテレビで議会の様子を見ることができる。釧路町でも議会の様子を防災無線などを使って流すことは出来ないか。 ▼質疑 傍聴席が満杯で聞けないことが想定されないか。 ▼質疑 町の長期財政計画はさっぱりわからない。他町村の独自資料は現状、合併時、自立時の具体的なデータが表示されている。情報公開不足。町の資料ももっと具体的に出来ないか。 ▼質疑 町の長期財政計画は判りやすく明記すべきで、その道のプロならわかるだろうが、さっぱりわからない。	見は数える程度しかない。町長は合併に反対ではないかと見られているため、賛成の意見を言いづらいのかとも思う。会場によっては賛成・反対の意見はある。説明に関しては中立の立場で対応しているつもり。 賛成・反対は人によりそれぞれ意見を持っているし、職員も同様。職員はどう思うと言われても言いづらいと思う。説明会に出て、言ったり聞いたりすることで個人の判断が出来ると思っている。よく、町長の判断を求められるが、町民を左右することになるので今はその時ではない。人はどうであっても、賛成・反対の意見を言っていただければ良い。 町 町では合併問題に関する説明会を、延べ 80 箇所以上で行っている。大事な問題を町民の知らない間に決めてしまったら大変なことになるからで、回数については自慢できる。思ったより集まりが悪く残念ではある。 町 あまり庁舎に訪れる機会がないだけに、直接議場に来ていただき、直に聞いていただくことが良いのではないか。 町 傍聴席は最大 50 席までは確保できる。事前に連絡をいただければ対応は可能。 町 他市町村の資料は承知している。釧路町の試案は、現状のサービス水準を一切変えないという前提での推計で、19 年度までは財源不足を生じるが、それ以降は黒字に転換するというもの。他町村は赤字の解消のためにサービスの調整が必要だが、釧路町はその必要がないと思っていただければ良い。最終ページの「財源不足への対応」も仮の場合であり、想定される場合の例として載せている。何とかやってくれるという推計になっている。 町 職員であっても全てが理解しているとは言い難い。私どもの反省点だが、わかりやすくするのも限界があり、今後作成することがあれば十分に留意する。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 長期財政計画は合併しなかった場合の試算だが、最終ページ以外の対応策はどのようなものがあるのか。また、合併しなかった場合のデメリットを知りたい。	町 自立するなら、自分自身で節約し、収入を増やさなければならない。最終ページに記載しているのは、例として考えられるものを列挙しており、実施するということではない。
▼質疑 この町の財政計画は心強い計画だと思っている。	町 苦しい状況の町村があることは承知しているが、釧路町はそれとは違う状況にある。 TV で税収と人件費の比較グラフを紹介していたが、人件費よりも税収が多いのは釧路市と釧路町という状況。そういう意味からすると財政的に違うと言える。釧路町はまだ人口も増え、住宅建設も増えており、若干でも税収が伸びる可能性を持っている。しかしながら、心強いと言われるほど安心できる中身とはいえない。
▼質疑 自立するための町長期財政計画は偏った考え方ではないか。「財源不足への対応」は、町民要望によって勝ち得てきたサービスなどであり、見直しがあってはならない。	町 必ず実施するということではなく、例として掲載している。これらは実施を前提としていないので、歳入・歳出の推計には反映していない。改訂することがあれば、皆さんと協議をしたいが、弾力的に考えていると理解されたい。
▼質疑 必要があって築き上げたサービスなどを削ってまで自立する必要があるのか。歳出では公園の草刈は「委託」から「町民みんなで実施する」というような工夫が大事でないか。	町 全くその通り。自立して財源不足になった場合、住民自らが考えていかなければならない。不要不急なものは減らそう。そういう対象があればそこから手を付けていきたい。パークゴルフ場は無料で良いのか。借金は子どもたちにかかっていく。現役世代が何がしかの負担をしていかなければいけない。使用料は町民と町民以外の方に差をつけてはどうかなど、皆さんと工夫しながらやっていきたい。
▼質疑 今の段階で長期財政計画を出すということは、合併しないことを前提としているのか。	町 町として自立できるのかどうかの資料として作成しており、当初は5年の計画だったものを10年間の計画で作り直したもの。8月号の広報で全戸配布を終えている。
▼質疑 町財政計画の収支について、収入は最小に支出は最大に見込んでいると思うが、交付税が下がればどうなるか。補助金制度の見直しが必要でないか等、常に見直しが必要で、最悪の状況を想定して欲しい。	町 今予想される状況で、明確になっているものは反映している。歳出は行政改革の方針にのっとり計上しており、一度作ったからずっとこのままということではなく、見直しは必要。歳入の変化に伴い歳出も見直さなければならない。現時点でのシミュレーションと理解願う。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 最終ページの「財源不足への対応」で固定資産税を制限税率を使っているが、他で制限税率を使うような市町村はあるか。新市では制限税率を使うのか。	町 制限税率を使っている例はない。収入を確保しつつ歳出を抑えるために作成したもので、もしそうしたことを実施するとしても行政として最大限の努力をして、皆さんに納得していただいた後に行われなければならない。掲載事項は方法論の一つと理解されたい。
▼質疑 慎重に検討した結果を載せて欲しい。全国的にも実施していないことまでやる必要を感じない。資料としてはサッパリ理解できない。	町 今のサービス水準を下げないでやっていけるかどうかの資料になっている。
▼質疑 下水道使用料の改定にしても、現在は釧路市より安い状況にある。自立するなら自立するための覚悟が必要でないか。	町 合併した場合は、水道・下水道料を合わせても実質値上がりすることになる。合併した場合はこうだが、自立した場合の負担は可能かどうかの判断になる。
▼質疑 町長期財政計画によると、実際には合併してもしなくてもサービス内容は変わらないのか。	町 自主自立を実現するなら、「歳入を増やすか」「サービスを落とすか」ということになるが、住民を無視してできない。我々行政も汗を流すことは当然で、協働の精神が大切になる。財源不足のために、何を行うかは決定していない。やるなら、町民のコンセンサスを得てからになる。
▼質疑 町長期財政計画では町民 1 人当たりの「基金残高」と「地方債残高」があるが、読み方としては、現状のサービス内容や負担をそのままにシミュレーションした結果であり、何年間か辛抱すればやっていけるということか。	町 そういう結果になっている。
▼質疑 自主自立、人に迷惑をかけずに町民サービスも自前でやっていく前提であれば、現状を考えれば、「病院がない」「水源がない」という自前の施設がなくて自立しているといえるのか。人の世話になっておきながら、水は買い、病院は隣接する施設を使っており、釧路市に「おんぶに抱っこ」と言われるし、「だから借金も少ない」と言われる。これを解消しなくて自立しているといえるのか。	町 そういう話は聞いている。病院について言えば、市立病院や労災・日赤病院を町民が使ってはいいということではない。水道はタダで使っているわけではなく高い料金を払っている。これは仕方がない面もある。独自の水源を持つためには、釧路川使用の許可を得るまでに 15～20 年がかかると言われ、水量調査も必要になる。一方、水の需要が落ち込んでいる中、釧路市に年間 3 億円を払っている。釧路市に対して感謝はしているが、おんぶに抱っこは考えていない。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
■意見 労災病院や日赤病院は道東の基幹病院でありおんぶに抱っこにはならない。それと釧路町の医療施設とは別問題と捉えるべき。 ▼質疑 町の財政計画では、17～19 年まで借金を払い、20 年以降はやっていけるということで良いか。 ▼質疑 町の財政計画の中で臨時財政対策債に 6 億円を見ているのか。 新市の財政計画の中にも臨時財政対策債は入っているか。 TV でのコメントでは、合併してもしなくても大変と言っているのは釧路町だけ。他町村は合併しなければという意思表示をしている。市長は町村が離脱しても合併すると言っている。真剣に考えないといけない。結果、5 市町村が合併し 1 町だけが抜けると、冷遇されないか不安がある。 ▼質疑 地震によりマンホールがせり上がり、アスファルトで補修している。合併したらすぐに対応してくれるのか、後回しにならないか。また、道路は分譲されたときの舗装のまま、しっかりしてもらわないと困る。 ▼質疑 合併特例債や助成金を使って、20 年度から 30 年度までの 10 年間で現在の釧路町より良くできるのか。	町 過去に村立診療所があったが、医師不足から赤字となり廃止した経過があり、その後、町として医療機関は持たなかった。釧路市と隣接していることで病院が利用できる状態にあったということでは、町民の方も感謝はしているが、おんぶに抱っこと思うことはないと思っている。市民からすると、そのような声がおきること想定されるが、公の施設でもあり、誰が使っても結構ではないのか。 町 19 年度までは基金から繰り入れており、20 年度以降は基金を取り崩さなくともやっていける。 町 町の財政計画でも新市の財政計画でも中で見ている。 町 現状、大きな支障ではないが応急的に対応している。全面的に出来るだけ早くやりたい。合併後の対応については、新市になった場合に新しい議員が住民の声をどれだけ届けられるかによる。 年次計画でマンホールの整備をしており、今回の災害でも災害復旧の対象になるか検討中である。 町 合併時には特例債ももらえ、補助金ももらえる。それがなくなった時の生活はおのずとわかる。今までであったものがなくなると言うことは、サービスを維持するためのお金は足りなくなるということ。同じサービスを維持するために、その財源をどこに求めるか？概要版では人件費や物件費やあらゆる経費を削減して計画を立てている。国の支援制度がなくなると貯めた金を使っていくか、住民に負担を求めるかの 2 つに一つ。貯金がなくなると住民に求めざるを得ないと思う。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 やっつけなくなったら、人件費をどれだけ減らすことになるのか。 ▼質疑 町の長期財政計画は、釧路町の財政状況をベースにして試算しているのか。 ▼質疑 別冊の町民会議資料を見ると、出席者の数が非常に少ない。どう受け止めているか。 ▼質疑 管内の 10 年後の姿が、今の釧路町の姿だと他町村の人間に言っている。それだけの苦勞をしないとならない。今の釧路町があるのは、昔の合併をした後に頑張ってきた結果で、職員も公僕であるという気持ちでやってくれるなら最高である。	町 10 人を 7~8 人にしていけば雇用問題も出てくる。また、住民サービスを維持できるのか。人がいてサービスが伴うので、人件費を減らせばいいということでもない。 仕事の効率化によって減らせる余地は出てくるが、人を減らすにも限度がある。その辺は慎重に考えなければいけない。収入を増やすにも限度があり、バランスを考えないといけない。 町 H15 年度予算額をベースにしている。国の方針は推計しており、全てを勘案することは難しいため、現状の制度を基にしている。 町 H13 年から説明会を行っており、その当時は集まりが良かった。そのときは枠組みも決まっておらず、「最初から反対」「判断材料が欲しい」という意見が多かった。その後、釧路協議会、6 市町村協議会が立ち上がり、最初にできたものがダイジェスト版であった。その時点では「現在の状況はわかったが将来の姿がわからない」という意見が多く、4 月から 8 月にかけて説明会も行ったが、中間報告では判断ができないと理解し、それらを補完すべく概要版の発行を待ってこうして説明会を行っている。 いざフタを開けてみると、1 ケタ台の出席者で何故なのかは解からない。他市町村でも同様の傾向だと理解している。重要なことであり、口コミでも出席していただけるように、皆さんにお願いをしている状況である。 町 市町村によって合併に対する認識、目的に差があると考えている。釧路村と昆布森村の合併の経験から言うと、合併は住民にとってメリットがないと意味がない。住民の立場になって良くなるなら合併は止むを得ないと思う。まとまったとしても、新しいまちづくりは難しい面もある。 釧路合併したときは貧乏同士で良くなる訳もなく、財政再建するにも国の言いなりで、鉛筆 1 本、ストーブ 1 台買うにも国のチェックが入る。道路にバラスをひく金がなく村民にお願いして鍬、スコップ持参で 10 年間やりくりしてきた。当時の村長は「新しい釧路村の住民として、浜も山も力を合わせるのが当たり前」とハツパをかけていたが、その通り。10 年間その気持ちがあったから耐え忍ぶことができ、まちづくりの新たな計画にも取り掛かることができた。水面貯木場の造成など時代の波に乗れた条件はあるが、苦しみに耐えられたことが発展の基になっていると思っている。苦勞するのは構わないが、その先に良かったと思える何かがないと合併の意味はないという気がする。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 町の財政計画で、今回の地震の影響はないか。	町 大きな影響はない。
▼質疑 臨時財政対策債とは、どういうものか。	町 2001 年に地方財政計画の収支計算の結果、交付税不足をこれに求めた。これも借金である。返す財源をまた交付税でみる。国が 30 兆円の国債発行を公約で掲げ、それを守るために地方にしわ寄せをして、地方に借りさせている。これがないと地方はやっていけないのが事実。3 年間の措置で今年で終わりになるが、これがないとやっていけない。国債の肩代わりを地方がしている。
▼質疑 独立をしてダメになったときに不安。	町 合併しても同じ事が言える。仮定の話ばかりしても仕方がない。どうすればいいかをみんなで知恵を出し合っていかなければいけない。H13 年にも長期計画を出しているので比べてみると、31 億円が不足。財政は生き物で入ってきた額で歳出を考えなければいけない。今年の決算でも変わってくる。マイナス予算は作れない。不足分は基金から、余れば基金へという予算になる。
▼質疑 合併しなかったら、市との間で共有できない施設の利用の面で不便さが出てこないか心配がある。広域的な観点から施設の相互利用を強めていくことを願う。また、市のアンケートの抽出方法は、	町 道の町村会が国に要望しているのは、まさにそういうことで、広域連合を変えた形で実現できるように言っている。ある程度、国も理解しつつある。広域の中で処理できればやっていけないといけない。釧路市のアンケートは、無作為抽出で行っている。春に協議会でも 1 万人アンケートの抽出を無作為抽出で行っているが、地域バランス、年齢バランスも取れている。抽出方法は、コンピュータ処理で、抽出条件を入れると自動的に無作為で抽出される。
▼質疑 釧路市の説明会に行ってきたが、高齢者が圧倒的で「合併ありき」の説明会の印象。市町村によって説明会の内容に格差を感じる。現実的な提案ではないが、町民には市の職員が、市民には町の職員が説明を行ってはどうか。お互いの認識違いや誤解が解けるのではないか。	町 概要版を中心に職員にも住民にも同じ説明をしている。釧路町では町独自の財政計画を示しており、自立したらこうなるという資料となっている。説明会は合併協議会と共催で行っており一方的な説明会ではない。この説明会には誰が来てもいいし、誰が行ってもいい。
▼質疑 職員が町民である割合は、	町 51%が町民で、49%が市民。そのうち厚岸、標茶が各 1 名。

概要版 - 住民説明会（釧路町 - 2003 年秋）

主 な 質 問 ・ 意 見	主 な 説 明 内 容
▼質疑 職員だけを対象にしたアンケートは町長の判断に影響するのか。それはいつ実施するのか。 ▼質疑 奈井江町が合併しないことを選択し、今後、広域行政を目指すと言うがどういうものか。 合併しないと言って広域連合は可能なのか。 ▼質疑 合併しなかった場合、釧路市は生き残るために町に給水している料金を倍にするとか、釧路市との関係が悪化することはないか。 ■意見 今までの説明会で「おんぶに抱っこ」「村八分」といった意見があったが、村八分などありえない。なぜそんな意見が出てくるか不思議。	町 職員アンケートは記入式で、職員だけのものとして扱う。 合併問題を職員がどれだけ認識しているのかを知っておく必要がある。その上で賛成か反対かを明示して欲しい。回収日は 11/17 までで、それまでには出してもらおう。住民アンケートとは別に対応する。 町 合併しないことで財政上は厳しくなるが、それはどこも同じ状況。どのようにして行政の効率化を図り、経費の削減を図るか？その一つとして広域連合で共同事務処理を行うというもの。同じ作業であれば複数で行いコストを下げる。国保、教育委員会、ゴミ処理、介護保険などを複数の町村で共同処理を行う。その処理を増やしていこうという考え。果たして広域連合だけで乗り切れるのかは判らない。 広域連合の可能性は地域の事情が判らず憶測の域を出ないが、奈井江町にあっては、周辺町村の浦臼町、新十津川町も合併協議会から抜けているので、3 つの町でも可能ではないかと考える。 町 水道料金については契約にのっとり業務を行っており、有り得ない。